

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

架空請求や悪質商法、クーリングオフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、簡易なものについては電話あるいは直接窓口にて相談者にアドバイスを行い、より専門性を求められる相談については、市広報広聴課や三重県弁護士会、三重県消費生活センターをはじめとする各種の相談窓口の紹介を行った。

消費生活相談総件数	128 件
-----------	-------

2 多重債務相談

多重債務に陥っている人の債務整理や生活再建のため、三重県多重債務者対策協議会と共同で司法書士と弁護士による多重債務無料相談会を開催した。

- ・ 日 時 平成 20 年 11 月 8 日（土）午前 9 時 30 分～午後 4 時
- ・ 場 所 三重県伊勢庁舎会議棟
- ・ 相談件数 15 件

3 融資対策事業

小規模事業者に対する金融円滑化のため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた中小企業者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

（1）小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた中小企業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
236 件	6,359,883 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

（2）商工制度資金利子補給事業補助金

平成 18 年 12 月末までに小俣町商工会の斡旋により国・県の制度融資を受けた中小企業者に対し、その返済状況に応じ利子の補給補助を行った。

件数	利子補給補助金額	取扱金融機関名
25 件	174,826 円	百五銀行、第三銀行、中京銀行 日本政策金融公庫（旧国民生活金融公庫）

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、取引先の急な倒産や災害、営んでいる業種自体が不況の影響を深刻に受けている場合など、緊急の事由により資金需要が発生した際に、上限一杯の保証を受けていたために、新たな融資を受けられないということがないよう、一定の要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証を受けられるよう「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数	根拠法令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	件 558	中小企業信用保険法第2条第4項第5号
金融機関の相当程度の経営合理化に伴って借入れが減少している中小企業者	4	中小企業信用保険法第2条第4項第7号

4 物産販売促進事業

(1) 物産展等への出展

協同組合三重県物産振興会及び伊勢市産業振興会と連携して全国の物産展等に出展し、販路の開拓及び特産品の宣伝に努めるとともに、伊勢の物産を紹介した観光パンフレット等を広く配布し、PRに努めた。

※物産展等の状況

開催日	開催場所	名称
20. 4. 2 ～ 4. 8	(株) 京急百貨店 (横浜市)	第1回三重県の技と工芸展
20. 4. 8 ～ 4.14	(株) 三越 池袋店	第15回三重のふるさと展
20. 9.23 ～ 9.29	(株) 津松菱百貨店	第6回ふるさと三重物産展
20.10. 2 ～10. 8	(株) 近鉄百貨店 阿倍野本店	第1回美し国三重技と味探訪
20.10.15 ～10.24	(株) 三越 日本橋本店	第52回旬味まるごと三重展
21. 1.15 ～ 1.20	(株) 福屋 広島駅前店	伊勢志摩パールフェア
21. 1.20 ～ 1.25	(株) 三越 高松店	三重県、伊勢市後援 大パールフェア
21. 2. 5 ～ 2.11	(株) 岡島(甲府市)	第10回三重県・紀伊半島の 物産展
21. 2.10 ～ 2.17	(株) うすい百貨店 (郡山市)	第9回三重県の物産展

(2) 観光土産品の質的向上

今年度の認定審査会は、現在の審査方法においては、消費者が求める安全・安心を確認できないため、開催を自粛した。

また、全国協議会へは、認定審査会の開催方法、審査規程については是正するよう要望した。

(3) 伊勢志摩地域で事業活動をする販売業者等に対するセミナー開催

伊勢志摩地域で活動する販売業者等の更なる質的向上を図るため、伊勢中小企業相談所、伊勢市産業振興会、伊勢志摩地区観光土産品公正取引協議会の共催により、その会員向けに営業活動に関するセミナーを開催した。

開催日	開催場所	名称
20. 7. 18	伊勢商工会議所 5階大ホール	営業実践セミナー 「売上げを伸ばす」営業ツール ～トップセールスの視点はここが違う～
21. 3. 24	伊勢商工会議所 4階中ホール	営業実践セミナー 営業なくして企業なし 「勝ちぬくための営業意識のポイント」

5 中小企業振興対策

中小企業の経営体質改善及び強化を支援するため、伊勢商工会議所内にある伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会の実施する事業に要する費用に対して補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業に対する講習会の開催、経営指導、 金融の斡旋	円 9,500,000
小俣町商工会	中小企業に対する経営指導や記帳指導 (経営改善普及事業)	7,200,000
小俣町商工会	管内の小規模事業者によるスケールメリッ トを活かした大売出し事業(地域小売商業 活性化対策事業)	170,000

6 伊勢志摩総合地方卸売市場貸付金

卸売市場の経営安定を図ることにより、消費者への生鮮食料品の安定供給と地元生産者の安定的な販路の確立を図る。

- ・貸付目的 運転資金
- ・貸付金 18,000千円
- ・貸付利率 無利息
- ・貸付期間 平成10年度～平成21年度(12年間)

- ・返済方法 一括返済
- ・償還期限 平成 23 年 3 月 31 日

7 矢持地区情報通信基盤整備事業

市内において携帯電話のサービスエリア外となっている矢持町に携帯電話基地局を設置し、矢持町の緊急時の連絡手段を確保すると同時に、地域住民の生命・財産を守り、併せて観光振興も含めた地域活性化を図るものである。

(1) 委託関係 (全て農林課施行)

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
矢持町 地内	矢持町菖蒲携帯電話基地局測量設計業務委託	用地測量 A = 0.05ha 路線測量 L = 0.05 km 設計業務 一式	円 (注 1) 645,750	20. 1. 28	20. 4. 4
〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局鉄塔設備設計業務委託	設計積算業務 一式	(注 1) 1,363,950	20. 2. 14	20. 4. 7
〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局ソフトバンクモバイル(株)用無線電力設備設計監理業務委託	設計・積算・ 監理業務 一式	1,111,950	20. 5. 23	20. 9. 30
〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局KDDI(株)用無線電力設備設計監理業務委託	設計・積算・ 監理業務 一式	1,113,000	20. 5. 30	20. 9. 30
〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局(株)NTTドコモ東海用無線電力設備設計監理業務委託	設計・積算・ 監理業務 一式	1,101,450	20. 5. 30	20. 9. 30

矢持町 地内	矢持町菖蒲携 帯電話基地局 鉄塔工事監理 業務委託	監理業務一式	円 1,536,150	20. 6. 3	20. 8. 29
合計	-	-	6,872,250	-	-

(注1) 平成19年度・20年度継続費

(2) 工事関係 (全て農林課施行)

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
矢持町 地内	矢持町菖蒲携 帯電話基地局 鉄塔工事	鉄塔工一式	円 10,197,600	20. 5. 24	20. 8. 29
〃	矢持町菖蒲携 帯電話基地局 鉄塔建設地造 成工事	造成工一式 鉄塔基礎工 一式	15,642,900	20. 6. 6	20. 10. 3
〃	矢持町菖蒲携 帯電話基地局ソ フトバンクモバイル(株) 用無線電力設 備工事	無線電力設備 一式	3,097,500	20. 7. 11	20. 9. 30
〃	矢持町菖蒲携 帯電話基地局 KDDI(株)用無線 電力設備工事	無線電力設備 一式	6,589,800	20. 7. 11	20. 9. 30
〃	矢持町菖蒲携 帯電話基地局 (株)NTTト`コモ東海 用無線電力設 備工事	無線電力設備 一式	2,677,500	20. 7. 11	20. 9. 30
合計	-	-	38,205,300	-	-

○ 中心市街地活性化事業

1 中心市街地活性化推進事業

(1) コンセンサス形成事業

中心市街地活性化基本計画の策定を促し、当該基本計画に意見を反映させるため、地域住民、商業関係者等との合意を形成し、「中心市街地活性化協議会」の設立を検討するための会議及び勉強会の開催と、今後具現化のための方向性等を取りまとめた。

(2) 空店舗対策事業

中心市街地商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、市が、いせTMO（事務局：商工会議所）に補助金を交付し、「活用モデル事業」、「テナント確保支援事業」、「チャレンジショップ事業」を実施した。当該事業は、新規創業者のための店舗開設、経営の一助だけでなく、商店主の競争心の向上や賑わいの創出にも繋がっている。

ア 活用モデル事業

商店街名	名 称	開設日	補助金額
高柳商店街	ふくふく館	平成 20 年 3 月	円 家賃 12 箇月 600,000
			維持管理費 49,197
			計 649,197
外宮参道発展会	外宮ひだまり処	平成 20 年 3 月	家賃 12 箇月 420,000
計			1,069,197

イ テナント確保支援事業

	商店街名	店舗名	業 種	補助金額
継続	新道商店街	伊勢ペルソナFC	サービス	円 40,000
新規	高柳商店街	アクア	コインランドリー	120,000
	新道商店街	ライフサロン	保険業	252,000
計				412,000

ウ チャレンジショップ事業

	商店街名	店舗名	業 種	補助金額
新規	高柳商店街	やまぐち	婦人服	円 200,000
		改装費	—	113,400
	新道商店街	改装費	—	500,000
	めいりん村	おいん	雑貨	12,000
		酒笑々	居酒屋	530,000
		風の扉	占い	144,000
	計			

(3) 各種調査事業

ア 空店舗調査

商店街名	平成 20 年 3 月 4 日			平成 21 年 2 月 25 日			
	商店数	閉店数	閉店率	商店数	閉店数	閉店率	前回比
伊勢市駅前	件 65	件 33	% 50.8	件 63	件 33	% 52.4	% 1.6
新道商店街	140	30	21.4	140	29	20.7	△0.7
高柳商店街	65	11	16.9	65	12	18.5	1.6
浦之橋商店街	68	13	19.1	68	15	22.1	3.0
めいりん村	55	18	32.7	55	18	32.7	0.0
計	393	105	26.7	391	107	27.4	0.7

イ 商店街歩行者通行量調査

調査日 平成21年2月7日(土) 午前9時から午後6時

商店街名	調査地点	平成16年 天気：曇り	平成21年 天気：晴れ	前回比
めいりん村	南入口	人 708	人 492	人 △ 216
	西入口	1,112	854	△ 258
	観光文化会館前	663	442	△ 221
外宮参道発展会	シャレオサエキ前	1,004	2,259	1,255
	足立ビル前	796	659	△ 137
	伊勢駅前ビル跡地東側	859	2,219	1,360
	伊勢市駅前	441	334	△ 107
	伊勢駅前ビル跡地西側	1,718	1,048	△ 670
伊勢市駅前商店街	旧三交百貨店裏	934	673	△ 261
	伊勢ビル前	664	341	△ 323
	伊勢ビル前鉄道側	1,029	1,150	121
	相可屋楽器店前	988	509	△ 479
新道商店街	東入口付近	1,039	1,072	33
	東	1,225	1,121	△ 104
	中央	1,025	983	△ 42
	西	918	884	△ 34
さくら通り発展会	二富士前	327	663	336
新町商店街	山甚ビル前	566	560	△ 6
栄町商店会	中央	358	229	△ 129
高柳商店街	東	1,614	1,239	△ 375
	中央	2,387	1,248	△ 1,139
浦之橋商店街	東入口付近	1,222	1,249	27
	東	1,964	1,064	△ 900
	西	1,341	861	△ 480
筋向橋	渡辺石油前	439	563	124
二俣通り	出崎屋前	789	791	2
総 数		26,130	23,507	△ 2,623

(4) 商業まちづくり補助金事業

市がいせTMOに補助金を交付し、中心市街地商店街又はこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的として、地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために行う事業(提案型)に対し補助金を交付した。

選 定 団 体	事 業 名	補助金額
伊勢銀座新道商店街振興組合	伊勢の夜祭 ～地球温暖化防止のCO ₂ 削減～	円 350,000
伊勢市商店街連合会	伊勢市民おおまつり前夜祭等	350,000

伊勢高柳商店街振興組合	広域の地域資源を生かしたイベント	円 350,000
さくら通り発展会	はしご酒スタンプラリー	196,403
計		1,246,403

(5) TMO構想推進協働事業

中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められており、地域住民や商店街等の相互の理解と協力が重要であることから、平成17年1月から市としてまちづくりに取り組むブランチャとしての活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地区住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させながら協働のまちづくりを展開してきた。また、中心市街地PR事業として、中心市街地で開催される各種イベント等やチャレンジショップの公募等を集合チラシ（新聞折込）にて情報発信を行った。

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 中高年齢職業相談

中高年齢者にとって厳しい雇用状況が続く中で、それに対応するため、伊勢公共職業安定所と協力し、サンライフ伊勢内に設置している相談室で中高年齢者を対象に職業相談を行い、雇用の促進に努めた。

求人相談	求職相談	職場適応相談	計	就職件数
0件	5,038件	0件	5,038件	120件

(2) 若年求職者等支援事業

伊勢地域の雇用情勢は有効求人倍率が低下傾向となっており、また、求人と求職のミスマッチも大きく、依然として厳しい雇用状況が続く中で、若年者の雇用も厳しい状況にある。この状況に対応するために、カウンセリング事業及び有識者によるセミナーを開催し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。

○ カウンセリング事業

- ・ 実施期間 平成20年4月から平成21年3月の原則毎週火曜日におしごと広場みえ（三重県）と共同で開催した。
- ・ 委託先 社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所
- ・ 委託料 473,480円
- ・ 実績 相談件数 185件（うちカウンセリング件数 延べ133件）

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

平成 10 年 11 月 30 日に任意団体として設立した伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターは、社会的信用性の確保と公益性を明確にするため、発展的に解散し、平成 15 年 4 月 1 日に社団法人として設立した。

当初は、伊勢市、鳥羽市、二見町、小俣町、玉城町及び御菌村の 2 市・3 町・1 村で広域設立し、平成 17 年 11 月 1 日の市町村合併により、現在は伊勢市、鳥羽市及び玉城町の 2 市 1 町で設立している。

この法人は中小規模の事業所が、単独では実施の困難な福利厚生事業を提供することを目的として、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋及び補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、提携施設の割引利用斡旋及び各種チケット斡旋を行う余暇活動事業並びに教養文化教室の開催及び参加補助を行う自己啓発事業を行っている。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	八日市場町 13 番 13 号 (サンライフ伊勢内)	25,512,000 円

なお、平成 21 年 3 月末の状況は、次のとおりであった。

会 員 事 業 所 数	会 員 数
630 事業所	4,239 人

(2) 勤労者ふれあい事業

(社)伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、'08 勤労者ゆとりフェスティバルを 11 月 2 日に県営サンアリーナを会場に開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約 25,000 人が参加し、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中で、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢市シルバー人材センター	伊勢市河崎 1 丁目 4 番 35 号	19,730,000 円

なお、平成 21 年 3 月末の活動状況は次のとおりであった。

会 員 数 (平成 21 年 3 月末現在)	延べ就業人数	受 託 件 数	契 約 金 額
861 人	76,745 人	3,406 件	341,026,439 円

(2) 高年齢者生活援助サービス事業費補助金

(社)伊勢市シルバー人材センターは、伊勢市健康福祉部長寿課から「伊勢市軽度生活援助事業」を受託し、日常生活に援助が必要な高年齢者に対して、在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を予防するサービスの提供を行っている。

この事業等の高年齢者生活援助サービスの実施に必要な介護講習や教材費、コーディネーターの謝金に係る費用を補助することにより、シルバー会員の就業支援だけでなく、シルバー人材センターの「福祉の受け手から担い手」としての体制づくりを支援した。

名 称	所 在 地	補助金額
(社)伊勢市シルバー人材センター	伊勢市河崎 1 丁目 4 番 35 号	2,500,000 円

なお、平成 21 年 3 月末の活動状況は次のとおりであった。

登録会員数 (平成 21 年 3 月末現在)	延べ就業人数	受 託 件 数	契 約 金 額
88 人	9,859 人	756 件	38,591,700 円

4 サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢は、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行し、(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施してきた。

指定管理者	指定管理料 (平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月分)
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	5,582,000 円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	研 修 室	会 議 室	職 業 講 習 室	教 養 文 化 室	体 育 室	ト レ ー ニ ング 室	計
利用件数	481 件	239 件	616 件	431 件	976 件	22,854 件	25,597 件
利用者数	5,613 人	2,092 人	18,787 人	5,433 人	19,780 人	22,854 人	74,559 人

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
20. 4～21. 3	12,992,030 円	505,520 円	683,820 円	14,181,370 円

ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	のべ受講者数
趣味づくり	12種 14講座	394回	9,602人
健康づくり	6種 8講座	307回	6,771人
計	18種 22講座	701回	16,373人

5 労働福祉会館管理運営事業

(1) 伊勢市労働福祉会館運営委員会

労働福祉会館運営委員会を平成20年7月28日、平成20年11月20日および平成21年2月5日の3回開催し、地域労働者の福利の増進と市民の文化向上を図るため、伊勢市労働福祉会館の今後の施設運営等について協議を行った。

・ 協議内容

平成20年7月28日 労働福祉会館移転の経過報告について
 平成20年11月20日 平成19年度利用状況及び収支決算について
 平成20年度利用状況及び収支決算見込について
 労働福祉会館移転の経過報告について
 平成21年2月5日 労働福祉会館の移転スケジュールについて
 新労働福祉会館に関する意見集約について

・ 組 織

委員 長 副市長
 副委員長 産業部長
 委 員 労働者を代表する者 4名
 公益を代表する者 4名
 市職員を代表する者 2名

(2) 運営状況(平成20年4月1日～平成20年7月31日)

ア 使用件数及び使用者数

区 分	大 会議室	第1 会議室	第2 会議室	第3 会議室	第4 会議室	和室 1	和室 2	計
使用 件数	45 件	85 件	104 件	35 件	16 件	78 件	17 件	380 件
使用 者数	1,980 人	764 人	1,916 人	332 人	147 人	389 人	306 人	5,834 人

イ 使用料収入

労働福祉会館使用料	500,220 円
-----------	-----------

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
勢田町 地内	(注) 伊勢市労働福祉会 館解体工事	RC造 3階建 延面積 1107.74 m ²	円 13,540,800	20. 9. 19	20. 12. 19

(注) 建築住宅課施行

6 伊勢市やすらぎ公園プール

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者の福祉の増進と体力の向上を図った。

(1) 開設状況

ア 開設期間 平成 20 年 7 月 1 日～ 9 月 7 日 (通常営業 47 日間)

イ 有料入場者数

区分 月別	大人	小人	付添人	計	超過利用者
7 月	人 2,926	人 4,337	人 812	人 8,075	人 87
8 月	2,125	3,675	684	6,484	91
9 月	88	145	32	265	0
合計	5,139	8,157	1,528	14,824	178

ウ 入場料収入

区分 月別	大人	小人	付添人	超過利用者	計
7 月	円 860,520	円 866,840	円 80,860	円 4,350	円 1,812,570
8 月	637,500	735,000	68,400	4,550	1,445,450
9 月	26,400	29,000	3,200	0	58,600
合計	1,524,420	1,630,840	152,460	8,900	3,316,620

エ 利用料収入

ロッカー利用料	368,700 円
---------	-----------

7 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は10年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	貸付総額	協調残高
0件	0円	33,900,000円	4,065,091円

(2) 勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用した場合、その利子を軽減することにより、勤労者の負担の緩和を図った。この制度は、市が東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益で利子を軽減するものである。協調融資期間は4年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	貸付総額	協調残高
0件	0円	10,910,000円	684,526円

産 業 支 援 課

○ 産業支援推進事業

1 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金の交付金額の確定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で事業経過及び実績等を審査したうえで決定した。

事業者名	交付決定額	事業内容
(有)若松屋	1,039,000 円	あわびの肝を利用した新商品研究開発

2 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付し、伝統工芸の育成支援に努めた。

事業者名	交付決定額	事業内容
(財)伊勢伝統工芸保存協会	200,000 円	伊勢市伝統工芸パンフレット作成

3 (株)三重TLOへの加入

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進している(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、共同開発研究するための橋渡しを行うとともに、産学官連携の拠点と位置づけた。

また、地元企業の人材確保の足がかりとして、9月29日・30日に三重大学と共催で、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し、企業概要や独自技術を学生にPRする場を地元企業に提供し、将来の雇用にもつながるよう努めた。

4 関係機関との連携のための情報収集

国・県や大学をはじめとする支援機関・研究機関などを訪問し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制のネットワークの構築を進めた。

また、伊勢商工会議所については、企業支援の面における役割分担を明確にする中でさらに密接な連携を図るとともに、産業支援の研究会である「産業支援センター分科会」において支援事業等の検討を定期的に行った。

5 伊勢市産業支援センター運営協議会

伊勢市産業支援センター運営協議会の委員13名の選定を行い、平成20年10月1日付で委嘱し、10月29日と3月10日に運営協議会を開催した。

また、委員の有志の方々により勉強会が月1回程度開催され、産業支援センターの施策について意見が出され、施策に反映するよう進めた。

○ 起業支援推進事業

1 インキュベーション・マネージャーの配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法を提案したり、経営・財務などの専門家と連携し、起業家の事業家活動を総合的にサポートする当事業の中心的人材であるインキュベーション・マネージャーを配置するため、民間企業に業務を委託した。

- ア 委託事業名 インキュベーション・マネージャーの業務委託
イ 委託期間 平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで
ウ 実施場所 伊勢市産業支援センター
エ 金額 8,000,000 円
オ 委託先 株式会社 百五経済研究所

2 起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	使用期間	事業内容
有限会社パイン・メディテック	平成 20 年 4 月から 平成 21 年 3 月まで	伊勢(三重)の伝統薬の開発・販売
株式会社ネットステップ	平成 20 年 4 月から 平成 21 年 3 月まで	通信の総合監視・管理システム の研究開発
高橋 美記	平成 20 年 4 月から 平成 21 年 3 月まで	地域の生活・食情報の収集・発信
伊勢エレクトロン株式会社	平成 20 年 4 月から 平成 21 年 1 月まで	自社セキュリティ電子製品の開発

3 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
世古 尚輝	平成 20 年 4 月から 平成 20 年 8 月まで	自然エネルギー有効活用事業
和田 洋明	平成 20 年 4 月から 平成 20 年 9 月まで	中古車輸出業
中井 ちひろ	平成 20 年 4 月から 平成 20 年 8 月まで	メイク&エステスクール・地域活性事業
辻村 みすづ	平成 20 年 5 月から 平成 21 年 3 月まで	地元産業の企画・広報・営業支援事業
東 友章	平成 20 年 12 月から 平成 21 年 3 月まで	地域番組・CM 制作、ホームページ制作
坂本 勝	平成 21 年 2 月から 平成 21 年 3 月まで	ホームページ制作・WEB システム開発・ パソコン出張サービス
角屋 守	平成 21 年 2 月から 平成 21 年 3 月まで	模型飛行機の輸入販売やイベント企画、 産業用飛行機の組立・販売

4 セミナー等の開催

(1) アントレプレナーセミナー（第 1 回）の開催

- ア 開催日 平成 20 年 5 月 23 日（金）
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 内 容 視覚による伝え方（デザイン）とそれに関する個別相談

エ 講師 MINATO インキュベーションセンター 能登 左知 氏

オ 受講者数 18 人

(2) アントレプレナーセミナー（第2回）の開催

ア 開催日 平成20年8月25日（月）

平成20年8月29日（金）

平成20年9月2日（火）

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室

ウ 内容 マーケティングや販路拡大の手法について

エ 講師 株式会社アーリー・バード 代表取締役 三田 泰久 氏

オ 受講者数 延べ15人

(3) 起業家・企業者向け融資セミナーの開催

ア 開催日 平成20年8月27日（水）

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室

ウ 内容 こくきん創業支援センター名古屋からの融資事業説明について

エ 講師 こくきん創業支援センター名古屋 課長 林 武志 氏

オ 受講者数 10人

(4) 起業喚起セミナーの開催

ア 開催日 平成20年11月5日（水）

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室

ウ 内容 起業をする上での心得や要点について

エ 講師 武田経営研究所 所長 武田 秀一 氏

オ 受講者数 39人

(5) 起業セミナーin伊勢工業高校の開催

ア 開催日 平成20年12月18日（木）

イ 開催場所 三重県立伊勢工業高等学校

ウ 内容 起業家精神について

エ 講師 株式会社あきない総合研究所 代表取締役 吉田 雅紀 氏

オ 受講者数 約200人

○ ものづくり推進事業

1 企業支援員によるマッチング事業

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握し、その解決に向け関連支援機関等への橋渡しや、各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を採用した。

2 地場産業PR事業

(1) 「伊勢の工芸展と名産市」の開催

- ア 開催日 平成 20 年 10 月 18 日（土）・19 日（日） 午前 10 時～午後 6 時
- イ 場 所 イオン ララパーク ショッピングセンター 1 階
- ウ 主 催 地場産業展実行委員会、伊勢市産業振興会
- エ 内 容 伝統工芸をはじめとする工芸品や、地場産業である造船や機械、電子機器等の企業展示を行い、市民に対してPRを行った。

(2) 「伊勢市産業支援センター“ふれあい祭”」の開催

- ア 開催日 平成 20 年 11 月 2 日（日） 午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分
- イ 場 所 伊勢市産業支援センター
- ウ 主 催 地場産業展実行委員会、伊勢市
- エ 内 容 伊勢玩具・伊勢提灯・伊勢春慶の体験教室やソーラーカー工作教室などを開催し、市民に伝統工芸やものづくりの楽しさを体験してもらうとともに、伊勢市産業支援センターのPRを図った。

(3) 「リーディング産業展みえ 2008」への共同出展

- ア 開催日 平成 20 年 11 月 7 日（金）・8 日（土）
- イ 場 所 四日市ドーム
- ウ 主 催 地場産業展実行委員会
- エ 内 容 県域レベルの展示会へ伊勢市の企業・団体 5 者が共同で出展することにより、企業間取引の活性化を図った。

3 技術講習会・講座等の開催

(1) 漆芸技術講習会

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法に取り組んだ。（昭和 61 年 5 月から開催）

- ア 開催日 毎週 1 回程度
- イ 講座回数 47 回
- ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- エ 講 師 元神宮司庁 神原 佑司 氏
- オ 受講者数 延べ 270 人

(2) 伊勢春慶塗り教室

- ア 開催日 平成 20 年 10 月 1 日（水）～12 月 3 日（水）の期間における
毎週水曜日 全 10 回
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- ウ 講 師 元工芸指導所長 西井 幸平 氏
- エ 受講者数 7 人

(3) 伊勢春慶塗り体験教室

- ア 開催日 平成 21 年 3 月 16 日 (月)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 実習室及び漆芸室
- ウ 講師 伊勢春慶塗師 森 勇三 氏
元工芸指導所長 西井 幸平 氏
- エ 受講者数 10 人

4 ものづくりセミナーの開催

(1)ものづくり技術講座 (分析)

- ア 開催日 平成 20 年 5 月 21 日 (水)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ 蛍光 X 線分析について
- エ 講師 株式会社島津総合分析試験センター 主任 市丸 直人 氏
- オ 受講者数 16 人

(2)ものづくり大学技術講座 (漆芸)

- ア 開催日 平成 20 年 5 月 28 日 (水)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ 伊勢と漆
- エ 講師 元神宮司庁 神原 佑司 氏
- オ 受講者数 31 人

(3)ものづくり大学技術講座 (食品)

- ア 開催日 平成 20 年 9 月 25 日 (木)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ 中小食品製造業の品質・安全管理のポイント
- エ 講師 食品安全技術研究所 所長 小川 洋 氏
- オ 受講者数 17 人

(4)知的財産セミナー「地域に根づく企業家精神に学ぶ！」

- ア 開催日 平成 20 年 11 月 2 日 (日)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ 蛍光表示管を世界へ～伊勢電子工業の創造と展開～
- エ 講師 ノリタケ伊勢電子株式会社 名誉会長 中村 正 氏
- オ 受講者数 39 人

(5)ものづくり大学技術講座 (生産管理)

- ア 開催日 平成 21 年 2 月 5 日 (木)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ 工程改善について

エ 講師 元本田技研工業株式会社 櫻本 昭 氏

オ 受講者数 54人

5 受託試験（各種材料試験）

F R P新造船などの材料試験（船舶安全法により、F R P特殊基準が定められており、12m以上のF R P新造船は、日本海事協会（NK）検定承認を受けた試験機による検査が義務付けられている。）を行った。

試験件数 16件

6 職員の技術向上研修

開放試験室に設置している試験機器等の操作・分析等において必要となる技術の習得のため、担当職員がメーカーの開催する研修会に参加し、技術向上を図った。

7 木工機械、試験機器等の開放

支援の内容	件数又は人数
木工機械の使用	12件
化学分析機器の使用	20件
その他の機器	3件

8 国民生活金融公庫との覚書の締結

中小企業の創業や、新規事業展開に取り組む起業家支援を目的に、国民生活金融公庫（現在は日本政策金融公庫）伊勢支店と業務連携・協力に関する覚書を、市レベルでは全国で始めて5月29日に締結し、双方に連絡窓口を設け、スムーズな融資活動に努めた。

9 鳥羽商船高等専門学校及び鈴鹿工業高等専門学校との協定書の締結

産業支援センターを核として中小企業の支援や起業家支援等を推進するなかで、鳥羽商船高等専門学校及び鈴鹿工業高等専門学校と連携して、中小企業が抱えている様々な課題の解決を図るとともに、人材育成や企業力強化を推進できるよう協定を3者で交わした。

○ 産業支援センター施設管理一般経費

1 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地内	(注) 伊勢市産業支援センター誘導標識設置工事	標識設置 N=4基	円 1,050,000	21. 2. 10	21. 3. 19

(注) 農林課施行

○ 企業立地関係

1 企業誘致活動の推進

各種企業展への参加及び、日本立地センター等を訪問し、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握、補助金獲得も含めた活動を実施した。また、工場の動向調査の実施や、金融機関、ゼネコン等関連各種団体を訪問し、情報収集するとともに企業の工場進出について協力を依頼した。

市内においても、市長の企業訪問や、下野工場団地協同組合との情報交換などを行い、地元企業との関係を強化した。

2 工場団地ならびに工場等誘致奨励制度の周知

市の優遇制度の周知を図るため、中部経済新聞（平成 21 年 3 月 6 日）・伊勢市ホームページ等に掲載したほか、市内高等学校の同窓会ホームページに、企業誘致のバナー掲載の協力を依頼するなど、市内工業団地の紹介ならびに市内への工場等の立地を奨励した。

3 企業立地研修会等への参加

地域活性化につながる企業誘致、工業開発を一層推進するため、研修会等に参加し情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
20. 11. 13～14	産業立地研修会	東京都	(財)日本立地センター 農商工連携と地域産業活性化
20. 11. 17	「企業誘致フェア 2009」 記念講演・開催説明会	東京都	(社)日本経営協会 21 世紀型の企業誘致戦略と産業立地の展望
20. 11. 18	産業立地推進研究会	東京都	(社)日本経営協会 大競争時代の企業誘致戦略

4 まつり博跡地企業誘致基盤整備事業

まつり博跡地への企業誘致を実現させるため、開発及び開発に係る社会基盤整備事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内	(注 1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備汚水 管渠施設調査委託	管内 TV 調査工 L = 920m	円 (注 2) 854,700	20. 2. 15	20. 6. 30
計	1 件		854,700		

(注 1) 農林課施行

(注 2) 平成 19 年度から繰越

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地内	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備工事	管きょ工 L=456m 排水構造物工 L=1,014m	円 (注2) 99,394,050	19.12.28	20.7.23
〃	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備に伴 う配水本管布設工 事	ダクタイル鑄鉄管布設 L=636m	(注2) 14,985,600	20.2.1	20.7.15
〃	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備(舗 装)工事	舗装工 A=6,254 m ²	(注3) 22,676,850	20.6.20	20.9.30
計	3件		137,056,500		

(注1) 農林課施行

(注2) 平成19年度から一部繰越

(注3) 平成19年度から繰越

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 農家戸数

単位：戸

区 分	販売農家数			自給的 農家数	総農家数	土地持ち 非農家数
	専業	第一種 兼業	第二種 兼業			
伊勢市	211	155	1,170	631	2,167	930
二見町	14	3	79	185	281	76
小俣町	51	56	199	67	373	113
御薮村	37	19	145	77	278	75
計	313	233	1,593	960	3,099	1,194

(2005年農林業センサス)

2 経営耕地面積

単位：ha

区 分	経営耕地				
	販売農家			自給的農家	計
	田	畑	樹園地		
伊勢市	1,345	81	29	120	1,575
二見町	58	14	1	33	106
小俣町	331	36	5	13	385
御薮村	113	40	2	15	170
計	1,847	171	37	181	2,236

(2005年農林業センサス)

3 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 33,640,000円

4 農業経営基盤強化促進事業

(1) 経営改善支援事業

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 104件 (平成21年3月末現在)

20年度新規認定 5件

事業費 273,675円 (市単独事業)

(2) 農地流動化地域総合推進事業

効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)		
	田	畑	計
利用権設定 (累積)	321.2	20.9	342.1
H20.4～H21.3 実績			
設 定	34.3	3.3	37.6
中途解約・期限切れ	14.6	0.4	15.0
所有権移転	1.3	0	1.3

5 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		借入件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期	66 件	179,877,000 円	398,336 円	市単独事業
	下半期	65	166,603,000	370,977	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		4	105,154,546	286,043	県 1/2

6 若い農業者育成確保推進事業

次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした稲刈り等を体験する農業体験学習会を農業者団体等に委託し実施した。

事業費 580,000 円 (市単独事業)

主な事業内容

対象小学校	体験内容	学年	参加人数
東大淀小学校	水稲 田植え、稲刈り	5 年生	18 人
豊浜西小学校	さつまいも、とうもろこし ほか栽培	6 年、2 年生	77 人 (収穫は全校児童 218 名)
城田小学校	さつまいも、大豆、トマト ほか栽培	2 年生	61 人
四郷小学校	水稲 田植え、稲刈り	5 年生	23 人
北浜小学校	水稲 田植え、稲刈り	5 年生	39 人
小俣小学校 明野小学校	いちご ポット栽培	1 年生	122 人 95 人
計	7 校	—	435 人

7 親子農業体験事業

担い手の不足と若者の農業離れが深刻化し、就農の促進や農業後継者の育成が重要となってきたため、農業体験を開催し、講師を明野高校生徒がすることにより、生徒が「伝える」ことを通じて農業への理解を深め、就農について考えるきっかけとし、若者の就農促進の一助とした。

また、受講対象を小学生とその保護者とすることにより、自然の恩恵や「食」に関わる人々の活動、「食」の重要性について、家庭で話し合う機会をつくった。

事業費 238,000 円（市単独事業）

主な事業内容

	開催日	内容	開催場所	講師人数	受講者
第 1 回	20. 9. 27	・開校式 ・イチゴ定植 ・お茶手もみ体験、クッキー作り	明野高校	13 人	11 組 25 人
第 2 回	20. 11. 15	・イチゴ管理 (下葉かき、液肥散布) ・フラワーアレンジメント		8 人	9 組 20 人
第 3 回	21. 1. 17	・イチゴ収穫 ・ジャム作り ・受講証授与		12 人	10 組 24 人

8 農業やってみませんか事業

農業の担い手不足が深刻になる中で、今後の農業振興・農村の活性化を図るためには、より多くの意欲ある人材の発掘が必要である。このため、定年退職者等で野菜作りに興味がある方が、セミナー及び実習を通して野菜栽培への理解を深めるための一助とした。

事業費 350,000 円（市単独事業）

主な事業内容

(1) セミナー（講師 市内農業者）

開催日	内容	開催場所	受講者
20. 8. 19	野菜づくりについて (秋冬野菜の育て方、土作り、水やり、害虫対策)	御菌総合支所 学習室	29 人

(2) 野菜作り実習（講師 市内農業者）

	開催日	内容	開催場所	受講者
第 1 回	20. 8. 19	ほ場への元肥の散布	村松町地内 ほ場	16 人
第 2 回	20. 9. 7	秋じゃがの定植、かん水、農薬散布	〃	15 人
第 3 回	20. 9. 24	白菜、キャベツ、ブロッコリー、ほうれん草、小松菜等の播種、水やり	〃	14 人
第 4 回	20. 10. 11	質疑応答、人参除草	〃	12 人
第 5 回	20. 10. 18	たかな、大根間引き、施肥、ジャガイモ、キャベツ土寄せ、ほうれん草、小松菜の播種、水やり	〃	7 人
第 6 回	20. 11. 22	小松菜、ジャガイモ、大根の収穫、草抜き等管理	〃	15 人
第 7 回	20. 12. 13	大根、人参、ほうれん草、たかな等の収穫、漬物指導	〃	18 人

第 8 回	21. 1. 10	白菜、キャベツ、人参等の収穫	村松町地内 ほ場	16 人
第 9 回	21. 1. 24	収穫	〃	15 人
第 10 回	21. 2. 27	収穫	〃	8 人
反省会	21. 3. 21	実習を振り返っての補足説明、質疑応答	御菌総合支所 学習室	17 人
		実習ほ場片付け作業	村松町地内ほ場	18 人

9 遊休農地活用事業

遊休農地は近隣農地へ悪影響を与える、集团的土地利用を阻害するなどの農業経営上の問題ばかりでなく、農地の持つ多面的機能の喪失にもつながるため、遊休農地を解消し、活用することで、地域農業の振興や農村環境の保全を図った。

実施地区	事業内容	実施面積	事業費	備考
二見町西・今一色地区	草刈・耕起業務、そば・菜種の作付（委託）	m ² 10,186	円 512,000	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（県 1/2、市 1/2）
小俣町湯田地区	除草・耕起業務、ひまわり・菜の花の作付（委託）	10,122	1,801,925	遊休農地活用事業作業委託（市単独事業）
村松町地区	堆肥散布（委託）	20,991	200,000	特定法人貸付事業対象農地条件整備（市単独事業）

10 特定法人貸付事業

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、特定法人貸付事業の対象となる遊休農地を農業経営に意欲的な一般法人に斡旋し、担い手不足などにより増加している遊休農地の農業上の利用を推進した。

貸付面積 20,991 m²（20 筆） ※累計 27,164 m²（22 筆）

実施地区 村松町狭間地区

作付作物 たまねぎ、キャベツ、ブロッコリー、じゃがいも等

11 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、農業者・農業団体が主体的に取り組む米の生産調整を推進・支援した。

生産調整を確実に実施するため、地域水田農業の振興に資する観点から、伊勢市水田農業ビジョンとの整合性の確保及びビジョンの実現に向けた助言・指導を行う必要がある。このため、伊勢市水田農業推進協議会を主体とした地域農業者の主食用等水稻作付状況等の確認体制を整備するとともに、地域農業者の生産調整の実施状況の把握に努めるための業務、並びに市単独助成にかかる作付状況等の確認作業等業務を伊勢市水田農業推進協議会に委託し、事業を推進した。

(1) 委託金額 4,943,375 円

(2)生産調整推進対策の実績

	19年度	20年度
水稲作付面積目標	1,675 ha	1,600 ha
作付段階における 主食用作付面積	1,976	1,966

12 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成20年度除外決定分（平成19年度申請）

利用計画変更分	件数	筆数	面積
農用地除外	22件	62筆	47,859 m ²
農用地編入	0	0	0
用途区分変更	3	3	277

事業費 270,000円（市単独事業）

13 農業振興事業

(1)農業振興事業

農村の活力が低下している中、農村の振興、農業の持続的発展のため、農協各営農部会が行う事業を支援し、地域農業の活性化、農業経営の安定を図った。

事業名	事業費	補助金額（市費）
営農指導対策事業	8,333,334円	1,500,000円
農産物生産性向上促進事業（小俣）	356,842	88,000
農産物生産性向上促進事業（二見）	820,320	148,000
病虫害対策防除事業（いちご）	145,530	58,000
病虫害対策防除事業（トマト）	374,580	187,000

(2)蓮台寺柿保存育成事業

350年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

補助金額 25,463円（市費）

(3)地域農業生産総合振興対策事業

稲作から他農産物への転換を促進するため必要な農機具等の資本整備にかかる経費を補助し、転作作物の生産拡大及び地域農業の持続的発展を推進した。

補助金額 3,500,000円（市費）

14 地産地消推進事業

(1)伊勢市地産地消の店認定制度

平成 19 年 12 月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、伊勢市地産地消の店として認定した店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成 20 年 6 月 19 日認定店 17 店舗

内訳：飲食店 7 店、宿泊施設 2 店、小売店 2 店、直売所 4 店、量販店 2 店

事業費 129,435 円（市単独事業）

(2)学校給食への地元農産物提供

学校給食週間による給食記念日献立実施日に、市内の小中学校の給食へ地元農産物を提供し、地産地消の啓発を図った。

提供先 市内小中学校 36 校

提供品目 いちご

事業費 354,651 円（市単独事業）

15 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

支援額 250,000 円（市単独事業）

16 産直市支援事業

新鮮で安全な農作物を消費者に提供し、地産地消の推進を図り、さらに消費者との交流による中心市街地の活性化と地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地での産直市施設の運営を支援した。

施設名 いせ産直市場（しんみち商店街内）

運営主体 伊勢市産直部会（事務局 J A 伊勢）

事業費 1,197,000 円（市単独事業）

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

(1)修繕・浚渫工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町新村地	排水路修繕工事	L=1.5 m	63,000 円	20. 4. 17	20. 4. 21

二見町西地	農業用排水路防護施設 修繕工事	m L=74.0	円 84,000	20. 6. 25	20. 7. 4
中村町内地	農業用排水路修繕工事	L=5.0	86,100	20. 7. 29	20. 8. 12
二見町莊地	農道舗装修繕工事	L=30.0	399,000	20.12.16	20.12.26
佐八町内地	農業用排水路修繕 (その2) 工事	L=1.5	98,700	21. 3. 3	21. 3. 19
〃	農業用水路取水補修工事	1.0箇所	94,500	21. 3. 3	21. 3. 19
横輪町内地	農業用排水路修繕 (その3) 工事	L=8.0	98,700	21. 3. 16	21. 3. 19
計	7件	—	924,000	—	—

(2)業務委託

業務名	施行場所	金額	着手	完了
菱川除草業務委託	栗野町地内	円 29,828	20. 7. 24	20. 8. 1
佐八町緑地樹木 剪定等業務委託	佐八町地内	187,950	20.12.11	21. 1. 15
計	—	217,778	—	—

(3)重機借上・原材料支給

	施行場所	金額
重機借上	朝熊町地内 ほか16件	円 2,166,465
原材料支給	通町地内 ほか2件	211,324
計	—	2,377,789

(4)物品購入

	施行場所	金額	着手	完了
馬瀬川浮草流木防止 フェンス	神社港地内	円 420,000	21. 2. 13	21. 3. 23

2 農地・水・環境保全向上対策事業

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の資源の持つ多面的機能の発揮のため、市内19の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援を行った。

実施地区 19組織(一色、西豊浜森、有滝、村松、東大淀、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣)

実施面積 1,332 ha

支援金総額 56,981,600円(伊勢市負担分 14,245,400円)

負担割合 国50% 県25% 市25%

3 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・指定管理委託期間 平成 19 年 1 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 1,887,000 円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
20. 4. 1～20. 4. 30	23 日	3,636 人
20. 5. 1～20. 5. 31	18	996
20. 6. 1～20. 6. 30	17	1,454
20. 7. 1～20. 7. 31	19	922
20. 8. 1～20. 8. 31	20	1,046
20. 9. 1～20. 9. 30	18	926
20.10. 1～20.10. 31	23	943
20.11. 1～20.11. 30	24	1,735
20.12. 1～20.12. 31	22	1,115
21. 1. 1～21. 1. 31	21	887
21. 2. 1～21. 2. 29	20	919
21. 3. 1～21. 3. 31	23	1,567
計	248	16,146

4 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設（「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」）について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定管理委託期間 平成 18 年 9 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 47,156,000 円
- ・二見しょうぶロマンの森維持管理運営委託に伴う「民話の駅蘇民」販売収入等 45,027,651 円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
20. 4. 1～20. 4. 30	25 日	10,440 人

20. 5. 1～20. 5. 31	日	人
	27	11,468
20. 6. 1～20. 6. 30	29	14,775
20. 7. 1～20. 7. 31	26	9,517
20. 8. 1～20. 8. 31	25	8,746
20. 9. 1～20. 9. 30	26	8,954
20.10. 1～20.10. 31	26	8,959
20.11. 1～20.11. 30	26	9,722
20.12. 1～20.12. 31	27	11,348
21. 1. 1～21. 1. 31	24	8,116
21. 2. 1～21. 2. 29	24	9,301
21. 3. 1～21. 3. 31	27	10,577
計	312	121,923

(2)小修繕

「しょうぶ園」の施設維持のため修繕を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町 松下地内	しょうぶ園水路修繕工事	施工延長L=105m 水路工一式	円 1,165,500	20.12.8	21. 3. 9

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1)市有建物の貸付

所在地	構造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期 間
小俣町湯田 55番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自20. 4. 1 至21. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成18年9月1日～平成23年3月31日
- ・指定管理委託料 407,000円
- ・施設利用状況等 年間利用回数133回
年間利用人数1,387人(延べ人数)

7 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、樋門の機能を保持し安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会長	円 20,600
江川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会長	16,500
土路西条 5号	磯町	磯町自治会長	16,500
矢田川	楠部町	楠部町自治会長	20,600
津村	津村町	津村町区長	16,500
宮沼	〃	〃	20,600
計	8樋門	—	152,500

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会区長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会区長	16,500
中島	〃	小川区自治会区長	16,500
郷垣外	〃	〃	14,450
中坪井	東豊浜町	〃	16,500
下坪井	〃	西条自治会町会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	〃	土路自治会町会長	16,500

墓ノ浦	東豊浜町	土路自治会町会長	円 20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町自治会町会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地藏池	村松町	有滝町会長	14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
イナ川	有滝町	〃	16,500
西曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀池	村松町	村松町会長	24,700
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600
明野	〃	〃	15,000
東勘坊	柏町	柏町会長	17,600
大切戸	一色町	一色町自治会長	16,500
戸部神	〃	〃	16,500
中渠	楠部町	楠部町自治会長	17,600
小畑	中村町	〃	15,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会長	20,600
西新田	〃	〃	16,500
西沖	朝熊町	朝熊町自治会長	16,500
保田	〃	〃	16,500
立岩	〃	〃	14,600
貝楠部	〃	〃	16,500
亀ヶ森	〃	〃	14,600
橘第二	〃	〃	14,600

橋	朝熊町	朝熊町自治会長	円 16,500
浜田	〃	〃	16,500
子良江古	〃	〃	16,500
雨湊川	上野町	上野町区長	16,500
西	二見町西	二見町西区長	14,450
計	41 樋門	—	682,450

(3) 樋門小修繕

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町地内	堀の内樋門修繕工事	扉体水密ゴム 取替	円 262,500	20. 8. 11	20. 9. 19
東豊浜町地内	豊北漁港墓の浦樋門修繕工事	樋門修繕 1箇所	97,650	20.12. 1	20.12.10
計	2件	—	360,150	—	—

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会長	円 11,000
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会長	44,000
有滝第1～5陸こう門 有滝第1～3角落し	有滝町	有滝町会長	40,100
土路第1～5陸こう門	東豊浜町 西条	土路自治会町会長	27,500
西条第1～5陸こう門 西条第1角落し	東豊浜町 土路	西条自治会町会長	31,700
計	5件		154,300

(2) 陸こう門小修繕

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町地内	村松漁港第7陸こう門修繕工事	陸こう門修繕 1箇所	円 52,500	21. 3. 9	21. 3.13

9 排水機場維持管理

(1) 補助金

農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 475,075
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	114,410
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	593,722
社護神排水機場	有滝土地改良区	321,840
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	22,110
計	5件	1,527,157

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種 類	肉 用 牛			乳 牛			肉 豚			採 卵 鶏		
	18	19	20	18	19	20	18	19	20	18	19	20
頭羽数 (頭羽)	512	521	550	16	16	15	600	600	600	31,920	27,500	26,230
戸 数 (戸)	6	8	8	2	1	1	1	1	1	6	6	5

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

補助金 3,412,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 市単土地改良事業

(1) 農道舗装事業

道路幅員等において、国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事等を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通の安全と円滑な通行の確保に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
津 村 町 地 内	農道舗装（その2）工事	m L = 61.0	円 681,450	20.10.31	20.12.26
村 松 町 地 内	農道舗装（その1）工事	L = 235.0	1,922,550	20.11.28	21. 1.23
上 野 町 地 内	農道舗装（その3）工事	L = 230.5	1,798,650	20.11.28	21. 1.23
円 座 町 地 内	農道整備工事	L = 39.0	2,715,300	20.12. 5	21. 3.13
津 村 町 地 内	農道舗装（その6）工事	L = 50.0	177,450	21. 2. 2	21. 3. 6
楠 部 町 地 内	農道舗装（その4）工事	L = 163.0	1,836,450	21. 2. 6	21. 3.13
柏 地 町 地 内	農道舗装（その5）工事	L = 254.0	2,386,650	21. 2. 6	21. 3.13
計	7 件	—	11,518,500	—	—

(2) 農業用排水路整備事業

国・県の補助事業として採択基準に合致しない、老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
津 村 町 地 内	農業用排水路（その1）工事	m L = 18.0	円 1,164,450	20. 4.25	20. 6. 5
一 色 町 地 内	農業用排水路（その2）工事	L = 82.0	1,487,850	20.11.28	21. 2.25
通 地 町 地 内	農業用排水路（その3）工事	L = 73.0	1,570,800	20.12.19	21. 3.18
津 村 町 地 内	農業用排水路（その5）工事	L = 145.0	5,323,500	20.12.26	21. 3.13
中 須 町 地 内 ほか	農業用排水路（その4）工事	L = 400.0	1,187,550	21. 2.13	21. 3.13
計	5 件	—	10,734,150	—	—

(3) 給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西豊浜町地内	給水栓設置工事	給水栓設置 70箇所	円 3,329,550	20. 12. 19	21. 3. 19

2 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事 業 名	工事概要	事 業 費	市 負 担
県営ため池等整備事業 戸部神地区	土質調査 一式 測量設計 一式 用地買収補償 一式	円 15,225,000	円 3,081,000
県営ため池等整備事業 一色町大切戸地区	堤体復旧工 一式 樋管工 一式 樋門工 一式	144,900,000	12,075,000
県営かんがい排水事業 宮川2工区	用水路 L=401.7m	94,500,000	1,658,475
県営かんがい排水事業 宮川4工区	幹線水路 L=352.6m 末端用水路 L=5,491m	202,335,000	22,431,000
県営かんがい排水事業 宮川4工区その2	用水路 L=4,743m	115,500,000	17,314,259
経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L=1,360.6m 支線用水路 L=1,243m	210,000,000	2,944,677
経営体育成基盤整備事業 小俣地区	実施計画書作成	2,000,000	202,500
県営ふるさと農道整備事業 松下地区	測量試験 一式 橋台工 1基 橋脚工 1基	90,900,000	31,950,000
県営ふるさと農道整備事業 御菌地区	道路工 L=18m 測量試験 一式 用地買収 一式	11,110,000	3,905,000
計	9件	886,470,000	95,561,911

(2) 補助金

ア 土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

(市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額)

補助金支出先	施行 年度	事 業 名	事 業 概 要	市補助額
宮川用水 土地改良区	昭和 62~ 平成3	県営施設整備事業市町 村負担金	用水路工事	円 (注) 3,287,000

宮川用水 土地改良区	20	土地改良施設維持管理 適正化事業 (28・31期生)	揚水機場整備補 修工事 一式	円 1,469,200
〃	20	土地改良施設維持管理 適正化事業 (28期生)	用水路補修工事 一式	346,500
〃	20	土地改良施設維持管理 適正化事業 (29期生)	用水路補修工事 一式	542,450
〃	20	土地改良施設維持管理 適正化事業 (30期生)	用水路補修工事 一式	208,400
〃	20	土地改良施設維持管理 適正化事業 (32期生)	用水路補修工事 一式	433,450
〃	20	県営経営体育成基盤整 備事業小俣地区(幹線 水路)計画書作成事業	実施計画書作成	4,050,000
伊勢北部 土地改良区	6～ 15	県営ほ場整備事業 (伊勢北部地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782
〃	5	〃	〃	(注) 685,141
豊浜 土地改良区	5～ 11	団体営土地改良総合 整備事業(豊浜・森・ 小川地区)	用水施設整備他	(注) 24,637,159
〃	10～ 11	県単土地基盤整備事業 (磯地区)	排水路工事	(注) 915,739
〃	13～ 15	基盤整備促進事業(大 方後地区)	用水路工事他	(注) 886,730
朝熊 土地改良区	4	団体営土地改良総合整 備事業(小規模排水) 名古屋砂地区	用排水施設整備 他	(注) 2,828,970
五十鈴川用水 土地改良区	20	木出頭首工維持管理事 業	電気料金他	431,909
〃	20	木出頭首点等ゲート補 修事業	頭首工操作盤交 換	89,964
伊勢南部 土地改良区	20	土地改良施設維持管理 適正化事業	農道舗装工事	(注) 288,000
宮川左岸第二 土地改良区	20	農業用用水管補修事業	干害応急対策事 業	300,000

小 俣 町 土 地 改 良 区	20	県営経営体育成基盤整備事業小俣地区実施計画書作成事業	実施計画書作成	円 8,561,700
〃	20	施設漏水防止工事	用水路補修工事	2,078,475
宮 川 右 岸 御 薮 土 地 改 良 区	20	県営かんがい排水事業給水栓工事	制水弁保護柵補修事業	348,950
〃	20	上長屋地区漏水補修事業	用水路補修工事	59,500
計	21 件	—	—	65,270,019

3 国営造成施設管理体制整備強化支援事業

国営で造成した土地改良施設（頭首工、揚水機、用水路等）に対する国の助成制度で、施設の持つ多面的機能の発揮及び環境や安全に配慮した管理体制の高度化を図った。

管理体制整備強化支援事業 1,908,000 円

（国 50% 954,000 円 県 25% 477,000 円 市 25% 477,000 円）

4 農村振興整備事業

地域の農業の健全な発展を図るとともに、景観が優れ、豊かで住みよい、アメニティに満ちた農村としていくためには、地域の特性に応じた農業生産基盤の整備、生活環境の整備その他の福祉の向上とを総合的に推進する施策を的確に実施していくことが必要である。

このため、土地の農業上の利用と他の利用との調整に留意しつつ、地域住民等をはじめとする多様な主体の参加の下、地域の将来像及び農村振興施策の基本計画を策定した後、農業地域の活性化のための人口定住化を図り、農作物を安定的に供給する農業が営まれる地域づくりを実現するための実施計画を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 市 内	実施計画書作成業務委託	設計業務一式	円 3,227,700	20. 9.19	21. 2.27

イ その他

施行場所	業 務 名	業務概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 市 内	伊勢市農村振興基本計画	印刷製本業務一式	円 201,600	21 2.26	21. 3.31

5 農業用施設受託整備事業

土地改良施設の適正な維持管理を行うため、土地改良区が実施する修繕工事を受託し整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小俣町土地改良区域内	農業用用水施設整備工事	用水路漏水補修等補修箇所 16 箇所	円 4,156,950	20. 11.28	21. 3.13

○ 林業関係

1 林道修繕事業

台風等の影響により法面が崩落した林道において、通行の支障となっていた土砂を撤去し、補修を行い、機能の維持・向上を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
矢持町 地内	冷水林道崩落法面復旧工事	V=12m ³	円 99,750	20. 4. 22	20. 4. 28
矢持町 地内ほか	林道法面崩落土砂撤去工事	V=40m ³	472,500	21. 3. 16	21. 3. 24
計	2件	—	572,250	—	—

2 環境保全林管理事業

市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈り等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。また、三郷山において一部民有地が介在していることが判明したため、用地買収を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町 茶屋地内	音無山遊歩道法面復旧工事	法面復旧 一式	(注) 円 189,000	20. 4. 30	20. 5. 21
浦口町 地内	三郷山遊歩道崩落法面復旧工事	土砂撤去 一式	99,750	20. 9. 11	20. 9. 17
辻久留町 地内	三郷山遊歩道修繕工事	土砂撤去 一式	98,700	20. 10. 2	20. 10. 6
計	3件	—	387,450	—	—

(注) 平成 19 年度から繰越

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
浦口町 地内	三郷山清掃業務委託	清掃 年 16 回	円 300,000	20. 4. 1	21. 3. 31
二見町 江地内	音無山管理業務委託	管理業務 一式	411,869	20. 4. 1	21. 3. 31
浦口町 地内	三郷山草刈等(その1)業務委託	下草刈りほか 24,700 m ²	780,000	20. 6. 3	20. 7. 18
横輪町 地内	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	20. 7. 1	21. 3. 31

浦口町内 地	三郷山給水施設衛生管理業務委託	給水施設 清掃・点検一式	円 29,872	20. 8. 12	20. 8. 22
〃	三郷山草刈等（その2）業務委託	下草刈り 24,700 m ²	518,000	20. 10. 10	20. 12. 1
横輪町内 地	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 18,660 m ²	1,250,000	20. 12. 2	21. 3. 19
計	7件	—	3,589,741	—	—

ウ 用地買収関係

施行場所	事業名	地権者数	筆数	面積	金額
辻久留3丁目 地内	環境保全林管理事業	1人	1筆	164.55m	7,454,115円

エ 補償関係

施行場所	事業名	地権者数	補償範囲	金額
辻久留3丁目 地内	環境保全林管理事業	1人	残地補償	972,972円

3 環境保全林整備事業

市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐を行う事により、保全林のもつ機能の向上を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
辻久留町内 地	三郷山間伐業務委託	間伐 A=4.9ha	円 1,620,150	21. 1. 28	21. 3. 27

4 音無山擁壁補強事業

音無山北斜面の遊歩道及び法面の擁壁に亀裂が生じており、このまま放置すると法面が崩落する恐れがある。法面の直下には国道42号が通っており多大な危害が及ぶとともに、音無山利用上支障をきたすことから、これらを未然に防ぐため擁壁補強事業を実施した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町 茶屋地内	音無山擁壁補強工事	擁壁工(ロックボルト工) N=51箇所 舗装工 A=197m ² 植栽工 一式	(注) 円 12,848,850	20. 2. 22	20. 7. 25

(注) 平成19年度から一部繰越

5 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.24ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 2.41ha 歩道草刈り 1.83ha	円 784,686	20. 8. 27	20. 9. 26

6 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町今一色 地内ほか	松くい虫防除（地上散布） 業務委託	薬剤散布 A=19.3ha	円 1,485,750	20. 6. 6	20. 7. 18
村松町 地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕 その1）業務委託	枯松伐倒破砕 5.9m ³	362,250	20. 6. 13	20. 7. 18
東豊浜町 地内	東豊浜松林下刈業務委託	下刈り A=4,300 m ²	40,000	20. 9. 11	20. 9. 30
二見町今一色 地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕 その3）業務委託	枯松伐倒破砕 74.5m ³	1,874,250	20. 12. 25	21. 3. 19
計	4件	—	3,762,250	—	—

7 地域環境保全整林整備特別対策事業

(1)海辺の公有林管理事業

海辺の森林の中核となる保安林及び林内歩道を適正に保全・管理するため、下刈り及び松くい虫被害木の伐倒駆除を実施し予防と機能維持を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町今一色 地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕 その2）業務委託	枯松伐倒破砕 159.6m ³	円 3,121,650	20. 5. 2	20. 6. 30
二見町 西地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り A=2.1ha	838,950	20. 9. 3	20. 10. 17
二見町 西地内	二見保安林除伐等業務委託	除伐 A=1.1ha	1,855,350	20. 12. 25	21. 3. 19
二見町 茶屋地内ほか	松くい虫防除（樹幹注 入）業務委託	樹幹注入 312本	3,820,950	20. 12. 25	21. 3. 19
計	4件	—	9,636,900	—	—

8 獣害防止事業

(1)有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行い、被害の減少に努めた。

区 分	件 数	延べ人員	捕 獲 数
神 宮 林 内	7 件	161 人	イノシシ 42 頭(羽) シ カ 46 サ ル 1
鳥 獣 保 護 区 内	7	30	イノシシ 36
そ の 他	43	385	イノシシ 116 シカ 125 サル 22 ドバト 58 ハシボソガラス 19 ムクドリ 15 ゴイサギ 6
計	57	576	—

(2) 獣害防止事業委託

伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林産物及び人的被害軽減に努めた。

内容 有害獣の捕獲に対する助成。(猪・鹿：3,000円/1頭 猿：10,000円/1頭)

平成20年度捕獲実績(頭)	
イノシシ	96
シカ	95
サル	22

事業費 793,000円 (市 793,000円)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止のため、平成20年11月に伊勢市鳥獣被害防止対策協議会を設立し、関係機関と一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。

事 業 内 容	金額(円)	備 考
捕獲檻導入	525,600	猪用：5台 猿用：3台
有害鳥獣駆除委託	258,000	委託先：伊勢地区猟友会
野生ザル被害対策のための捕獲ポイント選定及び被害対策普及業務委託	174,700	委託先：NPO法人 サルどこネット
野生ザル生態調査のための発信機等導入	231,100	受信機、発信機各2台
獣害対策講演会の開催(三重県と共催)	491,799	開催：2月25日ハートプラザみその参加者：140名
その他協議会運営費	18,801	会議開催経費等
計	1,700,000	

事業費 1,700,000円 (国 1,700,000円)

9 鳥獣保護等事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロ等の飼養許可事務を適正に実施した。

交付件数 5件 (メジロ：新規 2件 更新 2件 タヌキ：救護 1件)

手数料収入 13,600円 (手数料 1件 3,400円、救護については手数料免除)

(2) 傷病野生鳥獣保護

三重県傷病野生鳥獣救護実施要領の規定に基づき、市民から通報のあった傷病野生鳥獣を保護し、獣医及び救護ボランティアに搬送、適正な治療により野生鳥獣の保護に努めた。

件数 4件 (内訳 獣類 2件、鳥類 2件)

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、アサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業を主とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数及び漁業種類別経営体数は次のとおりで、生産状況は、貝類（アサリ等）が484t、魚類等が311t、くろのりは4,239万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名		平成20年度			平成19年度			
			正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内)	旧伊勢市管内	東大淀	45	143	188	45	144	189
			村松	61	95	156	67	101	168
			有滝	52	100	152	65	101	166
			東豊浜	39	242	281	46	248	294
			大湊	19	25	44	19	25	44
			一色	13	43	56	16	41	57
			神社	4	15	19	4	15	19
			小計	233	663	896	262	675	937
	町管内 (旧一見)	今一色	73	14	87	73	16	89	
		江	24	36	60	23	40	63	
		松下	21	45	66	28	41	69	
		小計	118	95	213	124	97	221	
	合計		351	758	1,109	386	772	1,158	

内水面	宮川漁協	1,185	1,289	2,474	1,221	1,265	2,486
	内伊勢市管内	336	224	560	348	220	568

(注) 宮川漁協は各年度 12 月 31 日現在

(各年度 4 月 1 日現在)

(2) 経営体数

(単位：戸)

漁業種類	平成 20 年度	平成 19 年度
小型底曳網漁業	145	117
採貝漁業	247	279
黒のり養殖業	25	30
刺網、一本釣、その他	113	168

(各年度 4 月 1 日現在)

(3) 漁業生産状況

(単位：kg (くろのりは千枚))

種類	平成 20 年度	平成 19 年度
魚類	218,071	293,622
水産動物類	92,484	145,306
アサリ	291,267	399,684
その他の貝類	192,621	220,939
くろのり	42,393	42,944
あおのり	1,806	1,876

(4) 漁船数

(単位：隻)

地区名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	合計
東大淀	73	8	1	0	82
村松	59	9	13	0	81
有滝	86	2	17	0	105
東豊浜	95	7	9	0	111
大湊	28	1	0	0	29
一色	18	0	0	0	18
神社	2	0	0	0	2
今一色	199	6	0	1	206
江	42	0	0	0	42
松下	34	0	0	0	34
合計	636	33	40	1	710

(平成 20 年 12 月 31 日現在登録分)

(5) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区 分	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～30歳未満	1	0	1
30～40歳未満	9	1	10
40～50歳未満	23	15	38
50～60歳未満	45	40	85
60～70歳未満	81	94	175
70歳以上	149	73	222
計	308	223	531
平均年齢(歳)	65.1	64.0	64.7

(平成20年3月末現在)

2 水産振興事業

(1) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立豊浜東小学校5年生(25名)に対して漁業に関する講習を行い、施設見学、水産加工物製造体験をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
有滝町・下野町地内	○講習： 「伊勢市の漁業の概要」「つくり育てる漁業」 ○施設見学： 陸上中間育成施設、ヨシエビ観察 ○水産加工物製造体験： かまぼこ	円 62,497	20. 9. 25

(2) アサリ漁場造成効果調査事業

平成18年度に県営事業により覆砂を行った漁場について、覆砂漁場の状態やアサリの生息について調査し、覆砂による漁場造成手法の効用を検証した。

実施場所	内 容	事業費	調査回数	実施期間
村松町地先	浮遊幼生着底状況、アサリ生息状況、粒度組成の調査	円 46,410	回 4	20.6～21.3

(3) 各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
アサリ養殖振興事業	伊勢湾漁業協同組合	東大淀・村松・有滝・東豊浜、二見町各地先にアサリ種苗を放流 放流量 22 t	円 8,882,474	円 2,227,000	アサリ生産高の向上と成長後の産卵による資源の増大を図った。

種苗（クルマエビ等）育成事	伊勢湾漁業協同組合	クルマエビ 100 万尾 ヨシエビ 50 万尾 クロダイ 6 千尾 ヒラメ 13 千尾 ナマコ 8 千尾 各種苗を松阪市松名瀬海岸～二見町地先に放流	円 2,660,000	円 182,000	クルマエビ・ヨシエビ（中間育成後）、クロダイ、ヒラメ、ナマコの種苗を放流し、資源確保と漁獲量の増大を図った。
稚鮎等放流事	宮川漁業協同組合	アユ 3,050 kg ウナギ 70 kg アマゴ 100 kg 各種苗を宮川流域に放流	9,342,000	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源確保と漁獲量の増大を図った。
計	3 件	—	20,884,474	3,009,000	—

(4) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁協が取組むクルマエビ、ヨシエビ、クロダイ、ヒラメ、ナマコの種苗放流について、放流適地、放流方法について指導した。

なお、平成 17 年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヨシエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(5) 担い手対策

水産業の担い手対策の重要性から水産教室を開催し、水産業の魅力を小学生に啓発した。さらに、水産物の安定供給をはじめ、漁業の持つ多面的機能を永続的に十分発揮させるため、平成 18 年度に「漁業の担い手等を考える会」が漁協主体で発足したところであり、漁業の担い手、新規就業者確保のための方策検討を行っている。

(6) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は昭和 60 年頃をピークに経営体数、漁獲量ともに減少の一途をたどっている状況のため、漁協、漁業者と協働で資源確保や生産力向上のために平成 21 年 2 月に「アサリ勉強会」を発足させたところであり、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		19 年度末 現在	20 年度末 現在	19 年度末 現在	20 年度末 現在
村 松	第 1 種	m 1,403	m 1,403	m 404	m 404
江	第 1 種	1,564	1,564	261	261

松 下	第 1 種	m 502	m 502	m 101	m 101
豊 北	第 2 種	5,939	5,939	1,784	1,784
大淀(東大淀)	第 2 種	1,841	1,841	424	424
計	—	11,249	11,249	2,974	2,974

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や管理用道路の清掃業務委託を行い施設の機能維持を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有 滝 町 地 内	豊北漁港水銀灯用引込 ポール取替工事	引込柱取替 1箇所	円 99,540	20. 4. 2	20. 4. 15
東 豊 浜 町 地 内 ほか	豊北漁港物揚場ほか修 繕工事	物揚場修繕 1箇所	98,700	21. 1. 6	21. 1. 20
二 見 町 江 地 内	江漁港照明灯修繕工事	照明灯取替 1箇所	26,250	21. 3. 3	21. 3. 9
計	3件	—	224,490	—	—

イ 重機借上関係

施行場所	借上重機	金額	着手	完了
有 滝 町 地 内	バックホウ 2台 トレーラー 2台 ダンプトラック 3台	円 258,615	20. 5. 14	20. 5. 14
東 豊 浜 町 地 内	バックホウ 1台 トレーラー 1台 ダンプトラック 4台	225,015	20. 5. 14	20. 5. 14
〃	バックホウ 1台 トレーラー 1台 ダンプトラック 2台	136,290	20. 6. 2	20. 6. 2
〃	バックホウ 1台 トレーラー 1台 ダンプトラック 2台	248,745	21. 2. 1	21. 2. 2
計	4件	868,665	—	—

○ 漁港建設関係

1 豊北漁港整備事業

航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し漁船の安全航行を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町・東豊浜町地内	豊北漁港浚渫工事	航路浚渫 A=1,971 m ²	円 18,800,250	20. 6. 6	20. 9. 3

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有滝町地内	豊北漁港深浅測量業務委託	平板測量 A=2,000 m ² 深浅測量 N=8 測線	円 1,177,050	20.10.31	20.11.28
〃	豊北漁港浮栈橋地質調査業務委託	地質調査 2箇所	2,490,600	20.11.28	21. 2.25
〃	豊北漁港浮栈橋構造設計業務委託	浮栈橋設計 N=1.0 基 連絡橋設計 N=1.0 基	4,192,650	20.12.19	21. 3.13
〃	豊北漁港浮栈橋積算業務委託	認可設計書 1.0 式	1,543,500	21. 2.18	21. 3.25
計	4件	—	9,403,800	—	—

2 豊北漁港海岸整備事業

老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事を進めた。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町地内	豊北漁港海岸堤防整備(その2)工事	堤防工 L=40.0m	(注1) 円 31,233,300	20.2.15	20. 9. 1
〃	豊北漁港海岸堤防整備工事	堤防工 L=160.0m	(注2) 86,231,250	20. 6.13	21. 6.30
〃	豊北漁港海岸堤防舗装工事	舗装工 A=162 m ²	(注3) 1,039,500	20. 6.27	20. 7.25
計	3件	—	118,504,050	—	—

(注1) 平成19年度から一部繰越

(注2) 平成21年度へ一部繰越

(注3) 平成19年度から繰越

3 豊北漁港津波・高潮危機管理対策緊急事業

角落し式となっている陸こう門をアルミ製の扉式に改良し、高潮や津波の防護に短時間で対応できるように整備をおこなった。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町・有滝町地内	豊北漁港海岸陸こう整備工事	陸こう製作据付 N=2基	円 10,101,000	20. 7.25	20.12.19

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町・有滝町地内	豊北漁港海岸陸こう事業関連積算業務委託	実施設計書 1.0式	円 1,312,500	20. 5.21	20. 6.19

4 大淀漁港堤防修繕事業

陥没している堤防を修繕し、波浪・津波等からの背後施設を防護できるようになった。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町地内	大淀漁港海岸堤防修繕工事	堤防修繕 L=20.0m	円 9,945,600	20. 6.27	20.11.28

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所属	施行場所	工事名	工事概要	金額
企業誘致課	朝熊町内	まつり博跡地企業誘致基盤整備工事	管きょ工 L=456m 排水構造物工 L=1,014m	(注1) 円 99,394,050
〃	〃	まつり博跡地企業誘致基盤整備に伴う配水本管布設工事	ダクタイル鋳鉄管布設 L=636m	(注1) 14,985,600
〃	〃	まつり博跡地企業誘致基盤整備(舗装)工事	舗装工 A=6,254 m ²	(注2) 22,676,850
産業支援課	〃	伊勢市産業支援センター誘導標識設置工事	標識設置 N=4基	1,050,000

観光事業課	中島 2 丁目 地 内 ほ か	第 56 回全国花火大会施 設工事	放揚施設工事 一式 会場周辺安全施設工事 一式 場内施設工事 一式 栈敷工事 一式	円 11,385,150
〃	〃	第 56 回全国花火大会電 気設備工事	電話・電灯設備一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	1,995,000
商工労政課	矢 持 町 地 内	矢持町菖蒲携帯電話基 地局鉄塔建設地造成工 事	造成工 一式 鉄塔基礎工 一式	15,642,900
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基 地局鉄塔工事	鉄塔工 一式	10,197,600
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基 地局ソフトバンクモバイル(株)用 無線電力設備工事	無線電力設備 一式	3,097,500
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基 地局 KDDI(株)用無線電力 設備工事	無線電力設備 一式	6,589,800
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基 地局(株)NTTドコモ東海用無 線電力設備工事	無線電力設備 一式	2,677,500
交通政策課	下 野 町 地 内	海上アクセス周辺電気 施設整備工事	高圧受電設備 1 式 駐車場外灯設備 19 基 係留施設動力設備 1 式 係留施設電灯設備 1 式	(注 1) 34,896,750
〃	〃	海上アクセス旅客ター ミナル舗装工事	舗装工 A=9,892 m ² 区画線工 L=3,554 m ² 排水工 L= 16m 法面工 L=1,830 m ² 縁石工 L= 59m 防護柵工 L= 34m	(注 2) 27,263,250
御菌総合支所 福祉健康課	御 菌 町 長 屋 地 内	ハートプラザみその架空線 高圧交流気中負荷開閉 器取替工事	架空線高圧交流気中負 荷開閉器取替 一式	351,750
〃	〃	ハートプラザみその冷温水 発生機ポンプ交換工事	冷温水発生機ポンプ交換 一式	766,500
計	15 件	—	—	252,970,200

(注 1) 平成 19 年度から一部繰越

(注 2) 平成 19 年度から繰越

イ 委託関係

所 属	施行場所	委 託 名	委託概要	金 額
企業誘致課	朝 熊 町 地 内	まつり博跡地企業誘致基盤 整備污水管渠施設調査委託	管内TV調査工 L=920m	(注1) 円 854,700
商工労政課	矢 持 町 地 内	矢持町菖蒲携帯電話基地局 測量設計業務委託	用地測量A=0.05ha 路線測量L=0.05km 設計業務 一式	(注2) 645,750
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 鉄塔設備設計業務委託	設計・積算業務 一式	(注2) 1,363,950
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 鉄塔工事監理業務委託	監理業務 一式	1,536,150
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 ソフトバンクモバイル(株)用無線電力 設備設計監理業務委託	設計・積算・ 監理業務 一式	1,111,950
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 KDDI(株)用無線電力設備設計 監理業務委託	設計・積算・ 監理業務 一式	1,113,000
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 (株)NTT ドコモ東海用無線電力 設備設計監理業務委託	設計・積算・ 監理業務 一式	1,101,450
計	7件	—	—	7,726,950

(注1) 平成19年度から繰越

(注2) 平成19年度・20年度継続費

観 光 企 画 課

平成 20 年、原油価格高騰、景気動向など観光を取り巻く世情がめまぐるしく動き、国においては、平成 20 年 10 月に観光庁が設置されるなど全国的に観光に対する競争が高まった。

伊勢市の入り込み客数は神宮参拝者数が平成に入ってから 3 番目に多く、750 万人を超えた。内宮の参拝者数は過去最高の 570 万人を超え、宇治橋の架け替え、伊勢志摩キャンペーンの実施、地域観光圏整備事業等の実施による伊勢の注目度が高まったことの裏づけとなった。

また、伊勢活性化プロジェクト事業の推進により、地域づくりの基礎を築くことに重きを置き、一方で情報発信については従来の取り組みの見直しなど、発地と着地の仕組みづくりを推進した。

旅行ニーズの多様化が顕著になっており、時代背景、利用者・業者のニーズに沿った観光施策振興が大きな課題となっている。

○ 観光施設管理運営事業

1 平家の里施設管理事業

辺地対策として、昭和 57 年度から 63 年度にかけて新産業構造改善事業（自然活用型）により建設された本施設について、指定管理者期間満了に伴う公募をかけたが応募が無く、次期指定管理者が決まらなかったため、平成 21 年 3 月 31 日の指定管理期間終了後、運営を一時休止することとなった。

<平家の里キャンプ村（昭和 57 年度整備）>

開村期間 7 月 1 日～8 月 31 日

(1) 指定管理料 2,956,000 円

(2) 利用状況

区分 月別	ロッジ		毛 布		テント		計
	件数	金 額	枚数	金 額	件数	金 額	
7	10 棟	51,500 円	17 枚	3,400 円	11 張	11,330 円	66,230 円
	115 人				29 人		
8	49 棟	252,350 円	60 枚	12,000 円	18 張	18,540 円	282,890 円
	186 人				55 人		
合計	59 棟	303,850 円	77 枚	15,400 円	29 張	29,870 円	349,120 円
	301 人				84 人		

< 農林漁業体験実習館（昭和 61 年度整備・新農業構造改善事業） >

（１）指定管理料 2,190,000 円

（２）使用料収入

区分 月別	施設使用料		
	件数（件）	利用者（人）	金額（円）
4月	3	54	6,880
5月	5	290	56,840
6月	2	20	3,280
7月	5	92	9,240
8月	7	214	57,450
9月	3	26	8,380
10月	5	53	8,720
11月	7	183	50,270
12月	3	43	7,270
1月	2	30	4,620
2月	2	20	3,280
3月	2	20	3,280
合計	46	1,045	219,510

○ もてなし心醸成事業

1 伊勢活性化プロジェクト事業

平成 19 年 9 月に開始した本事業について、「伊勢観光活性化プロジェクト会議」の各種会議を開催し、次のとおり事業運営を行った。

- ・参加数：団体参加数 53 団体、総体参加人数 77 人（H21.3.31 現在）
- ・活動内容

【全体】会議開催回数：全体会議 16 回・世話人会 12 回

全体会議を開催し、部会活動の報告や参加団体間の報告を行った。またプロジェクト会議メンバーの有志が「世話人」となり、事業活動全体を調整するとともに今後の方向性について協議した。

（成果）・プロジェクト会議の理念策定

- ・世話人会による運営・調整の定着
- ・部会による実践活動開始
- ・メーリングリストの活用による、メンバー間の情報共有
- ・チラシ配布・メディアへの働き掛けによる広報活動の活発化
- ・ホームページの開設

【部会活動】会議開催回数：食部会 18回 環境部会 15回 人部会 19回

各種団体や個人、事業者がプロジェクト会議のメンバーとなっていることから、それぞれが立場を活かしつつ立場を超えた連携を組み、ソフト面での観光まちづくりを目指し具体的なアクションを起こしていこうと部会を立ち上げ活動を行った。

- (成果) ・食部会 「外宮さんにちなんだどんぶりを創ろう」事業 実行委員会立上げ
 ・環境部会「環境ツーリズム」事業 下見ツアー1回・モニターツアー2回実施
 ・人部会 「一日伊勢っ子案内人」事業 イベント(伊勢市駅前)3回実施
 ・広報部会 各会議の動画記録

【中核基盤勉強会】会議開催回数：7回

19年度に全体会議での話し合いによる「伊勢には観光面でのまちづくりの中核基盤が必要」という結論を受け、プロジェクト会議メンバーの有志で中核基盤に関する勉強会を開催した。

	日時	参加者数	テーマと内容
第1回	6/19 19時～	21名	「伊勢にとって望ましい観光まちづくりの中核基盤とは？」
第2回	7/25 19時～	16名	「観光まちづくりの中核基盤は、どんなことをする組織にしていきたい？」
第3回	8/25 19時～	16名	「私が考える観光まちづくり会社のイメージ」
第4回	9/26 19時～	23名	「河崎の取組から学ぶ」
第5回	10/20 19時～	21名	「観光まちづくり会社の事業アイデアを出し合おう」
第6回	12/8 19時～	17名	勉強会としての意見を集約
第7回	3/4 19時～	20名	勉強会のまとめ

2 二見浦旅館街再生事業

二見地域の宿泊客数の増加と夫婦岩表参道(旅館街)一帯の活性化を目的に、地域の各団体と行政が一体となり二見浦旅館街再生協議会を設立し「地域資源活用の会」と「スポーツ大会・合宿受入の会」の各分科会において、地域資源の絞り込みとスポーツ大会・合宿の受け入れ準備を行った。

協議会メンバー：20名(H21.3現在)

月/日		参加者数	内容
1/13	協議会 (全体会①)	15名	先進地視察 スポーツ大会・合宿の誘致・受入に向け飛騨古川の運営方法、実践等の話を聞き意見交換を実施。
1/14	協議会 (全体会②)	19名	会員相互の意見・情報交換 地域の現状を再認識し、今後の目指すべき大きな方向性を探る。

1/21	協議会 (全体会③)	11名	協議会組織の見直し 目的、会則等見直し。
1/28	分科会 (地域資源①)	7名	会員間の意見共有 会員それぞれの想いを自由に出し合う。
2/4	協議会 (全体会④) 分科会 (地域資源②) (スポーツ①)	14名	協議会組織の新体制について 全体会で新体制について協議。各分科会において今後の進め方等について話し合う。
2/9	分科会 (スポーツ②)	19名	スポーツ大会・合宿受入について(その①) 企画・運営方法、年間スケジュール、他所の事例等、コンサルよりアドバイスを受ける。
2/20	分科会 (スポーツ③)	6名	スポーツ大会・合宿受入について(その②) アンケート調査やカルテの活用、栄養学に基づいたメニュー、コインランドリーの問題等、諸課題について話し合う。
2/24	分科会 (地域資源③)	10名	ブレインストーミング法(その①) 地域資源活用について、意見を出し合う。
3/2	分科会 (地域資源④)	7名	ブレインストーミング法(その②) 項目の整理とカテゴリー分けをする中で、まちづくりとの関連や位置づけ等を話し合う。
3/16	分科会 (地域資源⑤)	8名	次年度の目標や取り組みについて 「貝めしの復活」、「二見浦の砂を使った工芸品の開発」、「松(松林)、松葉・松ぼっくり等の利活用」、「ご当地ゆるキャラ」等。

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) ホームページを活用した情報発信

インターネットを活用して、(社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信、動画配信、また効率よく検索できるデータベースの情報充実(市内散策地図・観光資源・歳時記や観光協会の店舗紹介など)、最新情報の更新を実施。

【平成14年3月開設 平成21年3月末累計数1,763,414件〔1日平均689.6件〕(携帯電話からのアクセス件数含む)】

また、観光パンフレット・ポスターをリニューアルし観光案内所、観光客の問合せ、観光・物産展などに対応。

【観光企画課からの個人及び旅行会社等へのパンフレット発送件数は20年度1081件(19年度527件・18年度522件)】

年度	HPアクセス数	携帯電話からのアクセス数	合計	1日平均
13	867	132	999	142.7
14	75,125	2,811	77,936	213.5
15	103,989	2,087	106,076	290.6
16	131,157	1,820	132,977	364.3

17	208,001	6,239	214,240	596.8
18	344,290	6,069	350,359	959.9
19	430,969	5,099	436,068	1191.4
20	437,728	7,031	444,759	1218.5
合計	1,732,126	31,288	1,763,414	689.6

(2) 雑誌宣伝広告等による誘致活動

新聞や雑誌等の広告を通じて、伊勢市の紹介や施設・イベント等の情報発信を行う。

媒体名	掲載時期	備考
毎日新聞・三重版	4/20	
F M福岡	5/8	
AHA magazine	5/20	北海道
N A G I	6/1	夏号
旅行新聞	6/11	中部特集
La PORTE	6/15	福岡県
オントナ	6/25	北海道
奈良新聞	7/11	三重特集
伊勢新聞	7/15	レジャー特集
聖教新聞	7月中旬	東海版
E L F	7/20	福岡県
朝日新聞	7月下旬	
p o r o c o	8/20	北海道
La PORTE	9/16	福岡県
E L F	9/20	福岡県
ベルグ・ぼろん・つうぴーす・よっかいち ai	10/1	県内北勢地方媒体誌
オントナ	10/15	北海道
旅行新聞	10/21	伊勢志摩特集
伊勢講暦	11月中旬	
E L F	11/20	福岡県
p o r o c o	11/20	北海道
夫婦岩カレンダー	11/22	
わお！ハウェイマップ	11月下旬	
フクハウチ其の二伊勢	12/1	
中部経済界	12/1	
シティライフ	12/19	北海道
p o r o c o	12/20	北海道
オントナ	12/26	北海道
F M中部6局	7~3月	
お伊勢さん 125社めぐり	12/23	
ベルグ・ぼろん・つうぴーす・よっかいち ai	1/30	県内北勢地方媒体誌
中日新聞	3/1	
オントナ	3/4	北海道
オントナ	3/26	北海道

(3) 遠方・重点地域誘客強化事業

平成 25 年の遷宮に向けた観光入込客増大を目的に、市場動向から開拓の後れている地域を重点地域として設定し誘客強化を図り、認知度が低く公共交通機関利用が主となる来訪機会が少なかった北海道や九州地域等の遠方市場開拓、三重県と協働した観光客誘致活動や、地域に根付いた雑誌媒体等への情報掲載により来訪喚起を実施。

特に配布を北海道、東北、九州、津市伊勢市東京事務所に限った「伊勢おもてなしクーポン」については、伊勢市観光協会と協働し平成 19 年度に作成したクーポンを旅行商品への入れ込み、雑誌媒体等からの需要喚起を図るなど利活用を図った。一定の成果があったため、平成 21 年度版クーポン券の作成を協力業者の意向に従い、利用エリア拡大など内容をリニューアルし、活用を図っている。

○伊勢おもてなしクーポン（20 年度版）

問合せ件数・・・462 件（企業、個人等含む）

旅行商品化・・・JTB、ANA、日本旅行、kntほか

利用件数・・・951 件（延べ数）

○伊勢おもてなしクーポン（21 年度版）

2～3 月配布分・・・122 件

また、お伊勢さん健康マラソン大会実行委員会（事務局：市教育委員会）と協働し東京マラソン EXPO2009 へのブース出展を行いマラソン大会の PR を行った。

(4) 大都市圏旅客誘致推進事業

平成 13 年度からマーケットの大きい首都圏（1 都 7 府県）を中心に誘致活動を実施しているが、今年度は、11 月 8 日、9 日に東京都上野公園で開催された津・伊勢連携事業の「藤堂高虎公津入府 400 年記念事業東京イベント」において、観光物産ブースを出展。また、2 月に東京都と大阪府で開催された三重県観光連盟主催のメディア交流会にも出展するなど、第 62 回神宮式年遷宮の宇治橋架け替えを PR することで誘致活動を展開。

また、昨年に引き続き、観光大使や観光御師制度を活用し、東京三重県人会等にも出向き、ふるさと伊勢の誘致宣伝活動を実施。

2 広域連携事業

(1) 広域観光振興事業にかかる各種協議会への参画

（社）日本観光協会・（社）三重県観光連盟・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・歴史街道推進協議会・（財）伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢熊野観光連絡協議会・伊勢志摩おもてなし向上協議会・伊勢志摩学生団体誘致委員会・全国街道交流会議・全国夫婦岩サミット連絡協議会・日本ウォーキング協会・津伊勢観光振興協議会

3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

17年度から引き続き、平成25年の第62回神宮式年遷宮に向けた誘客の一環として伊勢の旅行商品の開発、旅行会社向け資料を作成。有機的な情報発信、誘客活動のためにノベルティグッズの作成等も行いメディア・旅行会社が取り扱いやすい環境整備を図った。

4 各種集大会等誘致開催補助事業

集大会の誘致を図るため、市内の集会施設を利用し、市内に宿泊することを原則とした県大会規模以上の各種集大会に対し、補助金を交付した。（市内での宿泊1人1泊あたり300円の補助）

期日	集大会名	延参加 人員(人)	延宿泊 人員(人)	会 場	交付確定 金額(円)
5/3 ～5	第40回 JSC全国ミーティング	566	429	神宮会館	120,000
5/4 ～5	第1回PRO CUP	500	144	伊勢市朝熊山麓 フットボール場	40,000
6/21 ～22	第19回 東海聴覚障害者体育大会	415	237	県営体育館本館 倉田山公園野球場 大仏山公園野球場 県営体育館別館 県営体育館本館 宮川堤公園ゲートボール場 ミエボウル 朝熊山麓公園ソフトボール場 伊勢市二見テニスコート	70,000
7/31 ～8/1	20年度東海北陸地区私立 幼稚園教育研究三重大会	3,694	600	県営サンアリーナ サブアリーナ	180,000
8/1 ～3	ソシエタフェスティバル	750	290	伊勢市朝熊 人工芝サッカー場	80,000
9/3 ～5	伊勢漆文化セミナー	143	99	神宮会館	20,000
9/20 ～21	第4回JFA三重ガールズサ ッカーフェスティバル	500	60	伊勢市朝熊山麓 フットボール場	10,000
10/4 ～5	第4回神宮奉納全国 ラグビー伊勢大会	395	170	朝熊山麓公園芝生競技場	50,000
10/11	第20回東海小学生 バドミントン大会(個人戦)	600	119	三重県営サンアリーナ	30,000
10/25 ～26	第11回東海高等学校 新人陸上競技選手権大会	2,950	1,058	三重県営 総合競技場陸上競技場	310,000
10/25 ～26	神宮奉納全国生涯野球 チア・アップ伊勢大会	1,166	346	倉田山公園野球場 県営大仏山公園野球場 朝熊山麓カンアリーナ野球場 千の杜野球場 伊勢市二見グラウンド 玉城町改善センター球場 株美和ロック球場	100,000
11/16	第5回NHカップ 東海ユースサッカー大会	450	130	朝熊山麓人工芝球技場	30,000

12/23 ・25	第2回おいないカップ ユースサッカー大会	900	208	朝熊山麓公園 フットボール場	60,000
12/26 ～28	第12回伊勢市中学生 サッカーフェスティバル大会	990	119	朝熊山麓人工芝球技場 宮川中学校 五十鈴中学校 港中学校 倉田山中学校	30,000
12/7	ママさんバレー・ことぶき 第9回親善交流大会 in 伊勢	238	113	県営サンアリーナ サブアリーナ	30,000
3/14 ～15	第9回全国社会人 クラブ対抗バドミントン大会	880	259	県営サンアリーナ サブアリーナ	70,000
3/27 ～29	朝熊招待サッカー大会 2009 春	900	238	朝熊山麓公園 フットボール場	70,000
3/20 ～22	第12回伊勢市高校 サッカーフェスティバル	1,200	329	朝熊山麓公園 人工芝フットボール場 朝熊山麓公園 新芝生球技場	90,000
計	18 件	17,237	4,948	—	1,390,000

5 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業、地域観光圏整備事業を展開。なお、地域観光圏整備事業は国土交通省が観光圏整備法に基づき観光地が広域的に連携した「観光圏」の整備を行うことで、国内外の観光客が2泊3日以上滞在できるエリア形成を目的に全国で16地域を選定した。

(2) 伊勢志摩キャンペーン事業

10月から3月まで、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道(株)などと共同で「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、東京・大阪・名古屋地区等において、伊勢志摩の観光PRを実施。ガイドブック、チラシ、ポスターを作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布して、伊勢志摩地域の情報発信及び旅行会社とタイアップによる誘客を展開。

(3) 伊勢志摩学生団体誘致委員会

国内・海外からの学生団体学生団体旅行等を伊勢志摩地域へ誘致することを目的に設立〔平成18年4月25日設立、3市(伊勢市・鳥羽市・志摩市)1町(南伊勢町)、三重県、観光協会、商工会議所、宿泊施設、観光施設、旅行会社等〕。

今年度は、自然学習、体験学習の宝庫である伊勢志摩を広域的に紹介した、学生団体誘致用旅行ガイドブック「伊勢志摩に、おいないさあ」の体験メニュー版を作成して旅行会社を中心に配布すると共に、7月には、横浜市、川崎市、大和市の中学校に訪問し、川崎市産業振興会館において、

体験学習発表会を開催した。また、8月には、川崎市教頭会研修の随行案内ほか、伊勢志摩への現地視察招聘事業も実施した。

6 外国人観光客誘致推進事業

伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会が、昨年に引き続き中国で観光客の誘致活動を実施するにあたり、当市においても中京圏国際交流促進協議会・歴史街道推進協議会・三重県観光連盟を通じて間接的な外国人観光客誘致活動を行ってきたところである。平成17年7月25日より、中国国内の団体旅行ビザの発行区域が全土へ拡大したため、中国は大きな訪日旅行マーケットとなった。20年5月には、近隣市町の官民合同で伊勢志摩地域への観光客誘致促進活動を行うために参加し、蘇州では、蘇州政府・星港学校を表敬訪問し、伊勢志摩地域への教育旅行推進活動を行い、上海では三重県人会との懇談を実施するとともに、蘇州、上海ともに訪日旅行を取り扱う旅行会社を表敬訪問し、PRを実施した。なお、これまでの誘致活動の成果としては今夏、蘇州市工業園区星港学校の学生教育旅行の来日が実施された。

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行う。

開催日等	名称
4/1～	伊勢志摩の旅 よいとこせ（観光ポータルサイト）
9/7	第53回ミス伊勢志摩選定会
10/1～21/9/30	「真珠婚」ポスター配布
10/21～26	第62回神宮式年遷宮記念「平成のお伊勢参り」
① 11/1～11/3 ② 5/31～10/19のうち10日間	① 「伊勢まで歩講」② 「公開リレー講座」
12/14	検定「お伊勢さん」
12/23	第2回おいないカップユースサッカー大会
1/28	歴史街道倶楽部・歴史のまちウォーク
3/8	第2回伊勢街道交流フォーラム
21/4～22/3	みそか寄席
21/4/25	COUNTRY HEAVEN '09 in 伊勢

○ その他

1 伊勢市観光振興基本計画アクションプラン策定事業

平成 19 年度に策定した「伊勢市観光振興基本計画」を具現化するため、同計画のアクションプランの策定を観光関連団体や行政などで構成する策定委員会において作成。市関係各課の事業と連携を図るため庁内連絡調整会議も開催。

なお、このプランは、広域計画である「三重県観光振興プラン」や「伊勢志摩観光振興プラン」との整合性を図りながら、「伊勢観光活性化プロジェクト会議」の意見も反映させ策定された。

2 おかげまいりブランド戦略委員会

平成 17 年から活動してきた「平成のお蔭参り事業実行委員会」をリニューアルし、「おかげまいりブランド戦略委員会」を立ち上げた。

伊勢地域を「おかげの国」ととらえ、伊勢の本質を現代にフィットした見せ方で発信する方法を追求し、神宮および撰社・末社・所管社（125 社）を「おかげの国」の共通項とし、行政区を超えた地域間の交流の中から地域の宝を発掘し合い、地域発の旅行商品づくりを目指すべく、今後の計画を協議した。

委員会メンバー：19 名（H21. 3. 31 現在）

	日時	参加者数	内 容
第 1 回	5/21 19 時～	10 名	今後の取り組みについて
第 2 回	6/25 19 時～	8 名	委員会の“目指すもの”について
第 3 回	7/28 19 時～	18 名	「鳥羽の取り組みから学ぼう！」 講演「伊勢志摩・再発見」 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役副社長 奥野和宏 様
第 4 回	8/26 19 時～	15 名	「おかげまいり」について学ぼう！ 講演「おかげまいりの歴史（背景）とその意味」 観光協会理事 山中一孝 様
第 5 回	9/24 19 時～	12 名	「委員会で、何を、どう、取り組みましょう？」 ・「おかげの国」の提案 ・「125 社めぐり」の提案
第 6 回	10/21 19 時～	10 名	現代版「おかげまいり」を具体化しよう！ ～おかげの国のお伊勢さん・125 社等の取り組み～
第 7 回	11/19 19 時～	8 名	来年度の取り組みについて、具体的に話し合おう！
第 8 回	12/11 19 時～	10 名	「おかげまいりブランド戦略委員会」のめざす全体像をまとめよう！
第 9 回	1/19 19 時～	11 名	「125 社めぐり」のコンセプト、ルートの提案 来年度の実施計画
第 10 回	2/17 19 時～	13 名	下見ツアー（玉城地域）の計画を立てよう！
第 11 回	3/16 19 時～	13 名	下見ツアーの報告、目的の再確認、これからの課題について

3 案内人のつどい

市内の案内人の意見を観光面での現場の声として市政に反映するため、また団体間の情報共有を図るため、「案内人のつどい」を開催した。

20年度は、外宮・内宮周辺を活動拠点に置く団体のつどいを開催。

(参加団体) お伊勢さん観光ガイド(伊勢市観光協会)、お伊勢さん観光案内人(伊勢商工会議所)、伊勢なでしこ、伊勢市駅前ボランティアタウンガイド、たおやめ会、伊勢市国際交流協会

	日時	参加者数	内容
初回	9/3 19時～	20名	(案内人懇談会として開催) 団体の自己紹介 お客様の傾向、対応する中での悩みなどの意見交換
第1回	11/4 19時～	14名	(「案内人のつどい」として正式に立ち上げ) 駅構内に設置予定の案内所について1
第2回	1/9 19時～	17名	駅構内に設置予定の案内所について2
第3回	3/11 19時～	17名	案内所におけるレンタサイクル業について 観光客対象の防災について

観 光 事 業 課

○ もてなし心醸成事業関係

1 年末年始旅客の受入対策

平成 18 年度から、地元 15 団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮前、外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしをした。

伊勢市観光協会としては、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇及び宇治浦田駐車場の管理を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各 4,000 個配布した。

2 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 秩父宮賜杯第 40 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会

11 月 2 日（日）に熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。ゴール地点である伊勢市で、市内 7 の太鼓団体が沿道で歓迎応援した他ゴールを知らせる景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。また今回は 40 回の記念大会ということで、永年伊勢市の P R に貢献いただいたとして主催団体及び出場校へ感謝状を贈呈した。

(2) お伊勢さん健康マラソン大会

11 月 30 日（日）に開催されたお伊勢さん健康マラソン大会のおもてなし部門として、約 4,700 食の伊勢海老汁、おにぎり、ぜんざいの配給を伊勢おかみさん会、チア・アップママと協働で実施した。

また、市内 5 の太鼓団体が沿道で選手の応援や歓迎をした。

(3) 第 2 回美し国三重市町対抗駅伝

2 月 22 日（日）に津市県庁前から伊勢市にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置した他、地元住民や選手の母校等で手作り横断幕を作成し選手の応援や歓迎をした。また、市内 12 の太鼓団体が沿道で応援した他、地元イセシマンをはじめ 12 地区約 20 体のご当地キャラクターがゴール地点で選手を出迎えた。

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所の運営

外宮前、宇治山田駅構内及び二見観光案内所における運營業務を（社）伊勢市観光協会に委託した。また、外宮前、宇治山田駅構内観光案内所は三重県では少ない外国人観光案内所（V案内所）に指定されており、外国人旅行者に対しても観光案内の提供を行なっている。

委託金額 9,487,000 円（契約期間 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(1) 外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	5,160	6,540	3,518	4,524	5,802	5,859	5,616	6,099	4,139	8,960	5,011	7,259	68,487
外国人 件数	225	156	130	168	220	198	169	140	100	121	66	145	1,838

(2) 宇治山田駅構内観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	2,024	2,678	1,670	2,171	2,987	2,575	2,314	2,611	1,713	3,178	1,922	2,997	28,840
外国人 件数	85	71	37	74	76	47	64	47	27	24	19	54	625

(3) 二見観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	454	691	376	494	593	434	469	492	339	557	496	251	5,646
外国人 件数	8	8	7	4	4	1	8	4	1	3	0	1	49

2 (社) 伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動している。

平成20年度は、財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として、6,248,400円を助成した。

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 明かり行事事業

夜のまちを賑やかにしようと設立した、伊勢おはらい町会議を中心とする「伊勢ヨイ夜ナ」実行委員会が、10月25日(土)26日(日)の2日間、伊勢神宮内宮前おはらい町界限において、「伊勢ヨイ夜(ヤ)ナ」を開催した。

平成20年で4回目を迎えた本事業は、市民参加型行事として、ヨイ夜ナサポーター（ロウソクカップの設置・撤去ボランティア）が、内宮前や五十鈴川河川、おはらい町界限、宇治館町内に約5,000個のロウソクカップを設置した。

集客数 22,000人

外宮地区においては、「第11回外宮さんゆかたで千人お参り」が8月1日(金)に、明かり事業の一環として、外宮にぎわい会議が中心となり、神宮参道と神路通りにろうそくを並べ、お祭りの雰囲気盛り上げた。

また、浴衣姿での参拝も定着し、近年は浴衣持参の観光客も増えてきている。

観客数 4,000人（うち外宮参拝者1,706人（うち ゆかた着用1,097人））

2 伊勢神宮奉納 飛騨古川きつね火まつり

5月25日(日)に飛騨市古川町のきつね火まつりが来勢し、外宮から宮川まできつねの嫁入り行列が、街行く人に狐を模したメイクをしていただき、観客と出演者が一体となり練り歩いた。

また、メイン会場である宮川堤公園では、かがり火を先頭に嫁入り行列が練り歩き、幻想な雰
囲気の中「きつねの嫁入り物語」を演じた。

観客集 2,500人

3 第2回伊勢・二見浦シーカヤックマラソン大会

8月24日(日)にNPO法人神社みなとまち再生グループを中心とした伊勢・二見浦シーカ
ヤックマラソン大会実行委員会が、神社港から勢田川、五十鈴川、二見夫婦岩、伊勢湾の港の交
流ロマンをめぐる第2回伊勢・二見浦シーカヤックマラソン大会を開催し、全国から54艇、約
82名が出場した。

4 観月会

9月14日(日)午後5時から外宮勾玉池を中心に全国から応募のあった短歌と俳句、舞楽が
公開された。また約500名が観月茶会に参加し幽玄な世界を楽しんだ。

5 2009年第29回世界新体操選手権

平成21年9月に三重県営サンアリーナで開催される「2009年第29回世界新体操選手権」の
組織委員会事務局を職員1名が兼務し、市内の関係機関との調整、応援組織の設立や広報活動
などを行った。

9月6日(土)には、小俣総合体育館で世界新体操選手権1年前記念イベントが事務局主催
で行われ、約700名が来場した。

6 伊勢フットボールビレッジ構想

H19に整備した2面を利用した、合宿や大会を誘致した。また、二見旅館組合や二見地域振
興課と協働し先進地の視察研修を実施した。

さらに、今後の構想実施のため、天然芝について視察研修を受けた。

合宿・大会市外利用者 5回 述べ人数 1,474人

○ 観光行事振興事業関係

1 第56回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成20年7月19日(土)】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された50の花火師が参加する競技花火大会で、
打上花火の部50組、スターマインの部11基の2部門で競われ、神宮奉納ならではの格調、質とも
に全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられた。

平成20年度は、来場者を含めより多くの方に情報発信ができるように、携帯版ホームページを
新設した。また、日本三大競技花火大会の一つとして、「競技花火大会」と知ってもらうため、花
火師1人1人の写真とそれぞれの花火に採点ができるよう、採点欄を記載したプログラムを作成す
るなど、改善を行った。

今年、平成 14 年から続いている、会場内のエコナビゲートボランティアに感謝状を贈り、例年の活動に敬意を表した。また今回も NPO 団体の協力により、87 名のボランティアが、ゴミの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

観客数 22 万人

2 春まつり【平成 20 年 4 月 1 日（火）～10 日（木）】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、（社）伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を迎えた。

3 日本観光交流・伊勢会議

6 月 20 日（金）21 日（土）に「第 4 回日本観光交流・伊勢会議及び第 41 回観光祈願祭」を開催し、（株）日本旅行代表取締役社長の金井耿氏の基調講演や全国の観光関係事業者等による、グループディスカッションを行ったほか、2 日目のエクスカージョンでは夏至祭に参加した。

4 伊勢楽市

【第 18 回：平成 20 年 5 月 10 日（土）・11 日（日）、第 19 回：11 月 15 日（土）・16 日（日）】

平成 8 年度から（社）伊勢市観光協会と共催で、滞在型観光による伊勢市駅前の活性化と地場産業の振興を図るため、外宮参道を中心に、伊勢市及び近隣市町村の地場産品、農林水産物、工芸品の販売及び PR を「市」という形で実施している。

5 月、66 業者（114 ブース）来場者 45,000 人

11 月、70 業者（102 ブース）来場者 80,000 人

○ 民俗伝統行事推進事業

1 神嘗祭奉祝事業【平成 20 年 10 月 14 日（火）～16 日（木）・25 日（土）】

15 日（水）に外宮領で初穂をお木曳車に載せ、賑やかに練りながら外宮へ奉納する陸曳（初穂曳）を行い、翌 16 日（木）内宮領で木ゾリに載せ五十鈴川を溯り内宮へ奉納する川曳を実施した。そして、神嘗奉祝事業として徳島県の「阿波踊り」、山形県の「花笠踊り」、沖縄県の「沖縄エイサー」、岐阜県の「郡上おどり」、秋田県の「西馬音内盆踊り」など日本の三大民謡、三大パレード、三大盆踊りが揃い、14 日（火）の夜にはサンアリーナにて神嘗晦日祭（前夜祭）を、15 日（水）には外宮前「お木曳の道」（県道伊勢南島線）にて奉納祭饗演を行った。

また、25 日（土）には伊勢神宮内宮宇治橋前特設会場にて、シンセサイザー奏者姫神による演奏会を伊勢ヨイ夜ナと同日開催した。

観客数延べ 115,500 人 参加人数 3,570 人

2 民俗伝統行事推進事業

平成 25 年に行なわれる第 62 回神宮式年遷宮に向けた諸行事の情報発信と、伊勢市の無形民俗文化財であるお木曳き行事の記録保存資料の収集と整理に努めた。

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開 催 日	名 称
20. 5. 3 (土) ~6 (火)	文化村リニューアル記念 伊勢・楽市楽座
5. 3 (土) ~18 (日)	第 18 回朝熊山つつじ祭
5. 5 (月)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 17 (土) ~18 (日)	第 24 回どんどこ祭り
5. 24 (土) ~6. 1 (日)	遷宮企画展～木の文化を継承する～
5. 25 (日)	伊勢神宮奉納「飛騨古川きつね火まつり」
6. 1 (日) ~10. 5 (日) 毎月第 1 日曜日	チャリティーREGGAEイベント 「GHETTO RED HOT」
6. 29 (日)	民謡・舞踊発表会
8. 1 (金)	第 11 回「外宮さんゆかたで千人お参り」
8. 1 (金) ~3 (日)	ソシエタフェスティバル
8. 31 (日)	第 3 回音しゃい祭り
9. 6 (土) ~7 (日)	第六回神恩感謝 日本太鼓祭
9. 14 (日)	観月会
9. 23 (火)	第 27 回伊勢音頭フェスティバル
9. 25 (木)	第 62 回神宮式年遷宮奉賛記念公演
10 月に開催される大祭の 各行事を撮影した作品	伊勢おおまつり写真コンテスト
10. 4 (土) ~5 (日)	第 4 回全国惑ラグビー伊勢大会
10. 4 (土) ~5 (日) 17 (金)	伊勢市民おおまつり
10. 5 (日)	第 11 回伊勢の伝統の能楽まつり
10. 14 (火) ~17 (金)	第 8 回神嘗祭奉祝事業
10. 25 (土) ~26 (日)	神宮奉納 全国生涯野球チャ・アップ伊勢大会
10. 25 (土) ~26 (日)	伊勢ヨイ夜ナ
11. 1 (土)	大仏山オータムフェスティバル
11. 1 (土) ~15 (土)	猿田彦神社七五三祭
11. 2 (日)	秩父宮杯第 40 回全日本大学駅伝対抗選手権記念大会
11. 5 (水)	「倭姫宮秋の大祭」奉祝行事
11. 16 (日)	第 2 回いせしま綱曳き大会
11. 23 (日)	第 9 回伊勢のだいどこ 河崎商人市
11. 30 (日)	紀北町「古道能」
12. 7 (日)	第 27 回伊勢志摩中日ウォーク
12. 7 (日)	第 20 回伊勢民踊まつり
12. 21 (日)	第 12 回茂登路会
12. 28 (日) ~20. 1. 1 (木)	第 36 回伊勢迄歩講
21. 2. 5 (木) ~11 (水)	第六回伊勢神宮展
2. 6 (金) ~7 (土)	ママさんバレーボール・ことぶき 第 9 回親善交流 i n 伊勢大会
2. 7 (土)	伊勢石灯籠まつり

開催日	名称
3.20（金）～22（日）	第12回伊勢市高校サッカーフェスティバル
3.20（金）～30（月）	山口誓子俳句館特別展「俳句の里・伊勢」～色を詠む～
3.27（金）～29（日）	朝熊招待サッカー大会 2009 春
3.28（土）～4. 5（日）	五十鈴川桜まつり

交 通 政 策 課

○ 三重県交通災害共済事業

「三重県交通災害共済条例」及び「三重県交通災害共済条例を廃止する条例」により、交通事故による災害を受けた者の当面の窮状を救済し、その生活の安定に寄与するとともに、交通事故の防止を喚起するため、市の受託事業として三重県交通災害共済の加入及び見舞金の給付に関する事務を行った。なお、加入受付事務は12月末で終了した。

1 加入資格

- (1) 県内市町の住民基本台帳に記録され、または、外国人登録している方
- (2) 前記に掲げる方の子供で県外の学校等に在学している方
- (3) 県外の居住者で、県内にある事業所に勤務し、または学校等に在学している方

2 掛金額（年額1人あたり）

一般……500円 生活保護受給者……200円

3 加入状況の推移

区 分	20年度	19年度	18年度
加入者数	38,619人	37,945人	39,895人
加入率	29.1%	28.4%	29.7%

(注) 伊勢市の加入期間は1月1日～12月31日である。

4 見舞金給付状況の推移

等級	見舞金額	20年度		19年度		18年度	
		件	千円	件	千円	件	千円
1	千円 1,200	4	4,800	4	4,800	1	1,200
2	1,200	1	1,200	—	—	—	—
3	800	—	—	—	—	—	—
4	600	—	—	—	—	—	—
5	400	—	—	—	—	—	—
6	200	—	—	—	—	—	—
7	(注)	—	—	—	—	—	—
8	150	3	450	—	—	3	450
9	90	1	90	2	180	1	90
10	80	8	640	4	320	8	640
11	55	4	220	9	495	5	275
12	45	7	315	11	495	9	405
13	35	30	1,050	31	1,085	44	1,540
14	25	71	1,775	139	3,475	129	3,225
追給	—	1	250	5	220	2	2,100
計	—	130	10,790	205	11,070	202	9,925

(注) 7等級は、3等級から6等級までの等級に該当する障がい者が2以上存する場合、重い障がい者に該当する等級の1級上位の等級の額を給付する。

○ 交通安全推進事業

1 交通安全啓発・指導の推進

(1) 交通安全啓発

交通安全運動期間中の活動

ア 交通安全運動実施時期

春の全国交通安全運動	4月6日(日)～4月15日(火)
夏の交通安全県民運動	7月11日(金)～7月20日(日)
秋の全国交通安全運動	9月21日(日)～9月30日(火)
年末の交通安全県民運動	12月11日(木)～12月20日(土)

イ 交通安全運動期間中の活動

a 運動初日の早朝街頭指導

交通安全運動初日に、各関係団体と連携して早朝街頭指導を実施した。

b 大規模店舗等において店内放送の実施

ジャスコ伊勢店及びララパークにおいて店内放送を実施し、運動を広報した。

c チラシ啓発物品の配布

市内のガソリンスタンド5店舗でチラシ及び啓発物品(ポケットティッシュ等)各500点を配布した。

d 横断幕等の掲出

のぼり旗・・・・・・・・市役所、伊勢総合病院等 約100本

懸垂幕・・・・・・・・市役所

横断幕・・・・・・・・岩渕1丁目(宇治山田駅前)、一志町(厚生小学校前)

e C A T V文字放送及び市ホームページでの交通安全啓発

(2) 早朝街頭指導の実施

毎月11日の交通安全の日に、伊勢市役所部課長級職員や伊勢市交通安全母の会等が伊勢警察署員や伊勢地区交通安全協会等とともに、早朝街頭指導を実施し、通学路や交差点における交通事故防止を図った。

2 委託事業等

当市が、委託事業・負担金・補助金を支出している交通安全推進団体の活動状況は、次のとおりである。

(1) 委託事業

ア 伊勢市交通安全都市推進協議会

伊勢市の交通安全条例に基づき、伊勢市内での交通事故防止を図るため、交通安全啓発活動を積極的に推進した。主な活動状況は、次表のとおりである。

実施日	内 容	備 考
20.10. 5	【伊勢市民おおまつり交通安全パレードの実施】 パトカーを先頭に、三重県警察音楽隊・小学生児童による交通安全宣言（録音テープ）・伊勢市交通安全母の会・交通安全協会女性部・いせ防災まちづくり親睦会（市民団体）・わんわん（犬）パレード等による交通安全啓発隊を編成し、広く市民に楽しく交通安全を啓発した。	開催場所 曾祢地区～伊勢市駅前 参加人員 県道鳥羽松阪線 約 450 名
21. 2.21 （表彰式） 21. 3. 6～15 （展示）	【第 38 回伊勢市児童交通安全図面ポスター展の開催】 児童の交通安全意識の高揚を図るため、市及び市教育委員会主催の、第 38 回伊勢市児童交通安全図面ポスター展を後援した。優秀作品の表彰式・展示を行い、来訪者等への交通安全啓発活動に活用した。	応募総数 798 点 入賞作品 39 点 入選作品 120 点 展示場所 ララパーク S C
21. 3 月	【新入学児童用ランドセルカバー購入・配布】 平成 21 年度市内小学校新入学児童の交通安全対策として、ランドセルカバーを購入し、各小学校を通じて対象者全員に配布した。	配付枚数 1,211 枚
年度中	【歩行者・自動車用反射材等交通安全啓発用品の購入・配布】 薄暮及び夜間の自転車や歩行者の交通事故防止のため、啓発チラシや夜光反射材等を購入し、各種講習会等において配布し、着用促進・交通安全意識の高揚を図った。	反射タスキ・シール 5,200 枚 啓発用ポケットティッシュ 2,000 枚 障がい者啓発用 反射材 1,700 個 チラシ 190 枚 反射風呂敷 300 枚

(2) 負担金事業

ア 伊勢・度会地区交通安全対策協議会

伊勢市と度会郡の 3 町及び伊勢警察署で結成し、交通安全教育活動、各季の交通安全運動期間中の交通安全啓発活動を行い、交通事故のない伊勢度会地区の実現を図った。主な活動は、次のとおりである。

○ 交通指導員（セーフティ・スクールレディ）等による交通安全教室の実施状況

幼 児	3,943 人	27 回	(3,376 人 21 回)
小学生	5,929 人	30 回	(4,311 人 23 回)
中・高・大学生	1,052 人	4 回	(554 人 3 回)
高齢者	5,206 人	49 回	(3,855 人 32 回)
合計	16,130 人	110 回	(12,096 人 79 回)

() 内は伊勢市分の内数

○ 交通安全シルバーサポート隊による啓発活動

25 地区（市内 18 地区）において、主として歩行中や自転車乗車中の高齢者等に対し積極的な声かけを行い、夜光反射材等の交通安全啓発品を直接貼付、もしくは配布した。（計 990 人・内市内 735 人）

(3) 補助金事業

市内小学校・幼稚園・保育所単位で構成される交通安全活動推進団体に対し、交通安全活動推進事業交付金を交付し、交通事故のない地域づくりを支援した。

交付団体数 37 団体（小学校 23 校・幼稚園 4 園・保育所 10 所）

(4) 伊勢市交通安全母の会

会報「あんぜん」の発行、伊勢おおまつり交通安全パレードへの参加、各交通安全研修会への参加等、交通事故のない安全な地域社会の実現を図った。

伊勢市交通安全母の会加入状況

(単位：人)

進修小	修道小	有緝小	早修小	中島小	明倫小	厚生小	神社小
188	381	561	174	316	391	417	369
大湊小	宮山小	浜郷小	四郷小	豊東小	豊西小	東大淀	城田小
182	270	355	181	111	218	127	357
上野小	小俣小	明野小	合計 19 団体 5,896 人				
94	667	537					

3 長期放置（機能喪失）自転車対策

(1) 長期放置（機能喪失）自転車撤去廃棄

駅周辺の美観の保持、駐輪場の有効利用、道路の安全通行確保を図るため、長期放置（機能喪失）自転車の撤去廃棄を行った。

場所：近鉄・JR伊勢市駅前駐輪場、近鉄宇治山田駅前第1・第2・第3駐輪場、近鉄宮町駅駐輪場、近鉄明野駅駐輪場、近鉄小俣駅駐輪場、JR二見浦駅駐輪場等

長期放置（機能喪失）自転車撤去廃棄台数 合計 452 台（年3回分）

内訳	5月26日実施	廃棄 23 台
	7月29日実施	廃棄 344 台
	12月24日実施	廃棄 85 台

(2) 駐輪場の整理

駅前駐輪場の自転車整理を社団法人伊勢市シルバー人材センターに委託し、駅周辺の美観の保持、駐輪場の有効利用、道路の安全通行確保を図った。

近鉄・JR伊勢市駅前駐輪場、近鉄宇治山田駅前第1・第2・第3駐輪場等

4 伊勢市児童交通安全図画ポスター展の開催

市内小学校から、交通安全図画ポスターを募集し、応募の798点の中から、優秀作品39点及び入選120点を選出し、表彰及び展示を行った。

表彰式 2月21日（土） ハートプラザみその 多目的ホール

展示 3月6日（金）～3月15日（日）イオンララパークショッピングセンター1階

○ 交通対策推進事業

1 伊勢地域観光交通対策推進事業

平成 17 年 8 月に「伊勢地域観光交通対策協議会」を発足し、伊勢地域の観光交通対策を行っている。協議会は、29 の関係機関で構成され、「伊勢地域の観光振興を図り、かつ地域住民が安心して生活できる環境を整備するため、伊勢地域周辺における交通渋滞を解消すること」を目的としている。

負担団体	事業内容	負担金額
伊勢地域観光交通対策協議会	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーク&バスライド サンアリーナ臨時駐車場～外宮・内宮・二見浦間にシャトルバスを運行させ、正月時期における外宮・内宮・二見浦周辺の交通渋滞の解消・緩和を図った。 平成 20 年 12 月 31 日～平成 21 年 1 月 4 日 2. パーク&バスライドによる社会実験 サンアリーナ臨時駐車場～内宮間にシャトルバスを運行させ、正月時期の次の混雑期におけるパーク&バスライドの有効性等を検討した。 平成 21 年 1 月 10 日～平成 21 年 1 月 12 日 3. 初参り交通対策 外宮・内宮・二見浦周辺の初参り交通対策として、来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 平成 20 年 12 月 31 日～平成 21 年 1 月 12 日 平成 21 年 1 月 17 日～平成 21 年 2 月 1 日の土日 4. ゴールデンウィーク交通対策 ゴールデンウィーク期間中の内宮周辺交通対策として、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 平成 20 年 4 月 26 日～平成 20 年 5 月 6 日 5. 国道 23 号 3 車線化による社会実験 現況 2 車線（片側 1 車線）であった国道 23 号の宇治浦田町交差点～内宮前の区間において、内宮行方向の車線を 2 車線に増やすことで、駐車目的の車両と通過交通（公共交通、地元車両など）を区分し、同区間の渋滞緩和などの効果を検証している。 平成 20 年 12 月 20 日～1 年間程度 6. その他 土日祝日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田町交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3 連休等の混雑期には、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日の土日祝日 	5,000,000 円

○ 路線バス運行維持事業

廃止路線代替バス、不採算路線バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。

ア 不採算路線バス（沼木線） 5,496,000 円 （参考：学校教育課分 5,813,000 円）

三重交通(株)による運行維持が困難であるため、損失のうち、児童が通学に利用する運行については、教育委員会が、それ以外は、交通政策課が負担し、運行を維持した。

イ 廃止路線代替バス（玉城線） 5,949,300 円 （参考：玉城町分 1,608,600 円）

三交伊勢志摩交通(株)による運行維持が困難であるため、伊勢市・玉城町・三交伊勢志摩交通(株)の協議において、運行系統キロにより伊勢市と玉城町が按分し、経常損益を運行事業者へ助成し、運行を維持した。

○ コミュニティバス運行事業

平成 19 年 4 月 1 日より、9 つの路線（ルート）でコミュニティバスの運行を開始し、運行後については、地域住民との検討会や、学識者・運行事業者等との地域公共交通会議を開催し、平成 20 年 4 月より、一部ダイヤ、ルートを改正し、一層の利用促進を図った。

また、新たな運行方式の導入についても、有効性を検証し、より効果的・効率的な公共交通サービスを提供するための検討を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額(円)	着手	完了
伊勢市内	伊勢市コミュニティバス運行業務委託	運行業務 (市内 9 ルートでの運行)	76,185,259	20. 4. 1	21. 3. 31
〃	デマンドサービス導入に係る実証運行検討業務委託	デマンド導入に向けた基礎調査、計画立案及びデータ収集	2,688,000	20. 7. 29	21. 3. 13
〃	伊勢市コミュニティバス運行に伴う施設整備等業務委託	平成 21 年度の運行に向けた、バス停等施設の修正と増設に伴う施設整備	1,615,950	21. 2. 23	21. 3. 31
計	3 件	—	80,489,209	—	—

(2) 利用者数の推移

単位(人)

ルート名	20 年度 (A)	19 年度 (B)	H19 と H20 の 利用者数の比較 (A) - (B)
御菌ルート	6,198	6,288	▲90
辻久留・藤里ルート	14,059	13,894	165
明野ルート	10,604	11,159	▲555
粟野ルート	2,538	3,176	▲638
湯田・新村ルート	1,549	1,707	▲158

小俣元町ルート	2,343	2,442	▲99
鹿海・朝熊ルート	10,127	9,540	587
二見ルート	11,139	9,498	1,641
小木・田尻ルート	1,472	718	754
合 計	60,029	58,422	1,607

○ 伊勢湾海上アクセス推進事業

運航事業者からの事業進出の申し出を受け、伊勢市と中部国際空港を結ぶ海上運航のため、ターミナル整備を進めてきたが、平成20年2月に運航事業者からの突然の就航断念の申し出により、就航が中止になった。

そのため、新たな運航事業者の開拓を行ったが、現在の厳しい社会経済情勢の中、中部国際空港との航路を開設することは、経済的な負担やリスクが大きいと判断し、社会経済情勢が安定するまでは凍結することとした。

また、旅客ターミナルの管理は市の直営管理として維持管理を行うとともに、ターミナル施設の利活用について検討を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額 (円)	着 手	完 了
下野町内	(注1) 海上アクセス 旅客ターミナル 新築工事監 理業務委託	木造(大断面構造)平屋建 延べ面積 381.00 m ² 建築面積 518.80 m ² 監理業務委託 一式	(注2) 1,470,000	19.11.6	20.4.11
〃	海上アクセス 旅客ターミナル 電気工作物 保安管理業務 委託	高圧受電施設の電気保安 管理業務	123,480	20.4.1	21.3.31
〃	台風13号に伴 う係留施設防 災対策業務委 託	防災対策業務	126,000	20.9.18	20.9.25
〃	係留施設防 災対策業務委 託	防災対策業務	126,000 (単価契約)	20.9.24	21.3.31
〃	伊勢市宇治山 田港旅客ター ミナル浄化槽 維持管理業務 委託	浄化槽の維持管理業務	94,710	20.10.1	21.3.31
計	(注3) 4件	—	(注3) 1,814,190	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成19年度から繰越

(注3) 単価契約を除く

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額(円)	着工	完工
下野町 地内	(注1) 海上アクセス 周辺電気施設 整備工事	高压受電設備 1式 駐車場外灯設備 19基 係留施設動力設備 1式 係留施設電灯設備 1式	(注2) 34,896,750	19.11.9	20.4.11
〃	(注1) 海上アクセス 旅客ターミナル 舗装工事	舗装工 A=9,892 m ² 区画線工 L=3,554 m ² 排水工 L=16m 法面工 L=1,830 m ² 縁石工 L=59m 防護柵工 L=34m	(注3) 27,263,250	20.1.18	20.4.15
〃	旅客ターミナル 門扉設置工事	門扉設置工 (H=1,400) L=24.5m (H=1,200) L=3.0m 防護柵設置工 (H=1,500) L=14.3m (H=1,100) L=1.9m	(注3) 2,388,750	20.6.18	20.8.7
〃	海上アクセス灯 浮標撤去工事	灯浮標撤去工 1基	357,000	21.3.5	21.3.27
計	4件	—	64,905,750	—	—

(注1) 水産課施行

(注2) 平成19年度から一部繰越

(注3) 平成19年度から繰越

(3) その他

内容	金額	備考
ターミナル用地の土地賃借料	円 12,313,440	月額1,026,120円×12ヶ月分
伊勢湾海上アクセス推進事業に伴うアサリ稚貝の放流(繰越分)	(注) 1,499,610	Kg当たり193円×7,400kg×1.05
伊勢湾海上アクセス推進事業に伴うアサリ稚貝の放流	1,496,103	Kg当たり373円×3,820kg×1.05
勢田川船参宮再現ツアー	43,500	みずきチャーター代 30,000円 河崎商人館入館料 9,500円 傷害保険料 4,000円

(注) 平成19年度から繰越